

第2次安曇野市環境基本計画

令和3年度 年次報告書

2022年3月

安曇野市

目 次

1	年次報告書について	1
1-1	目的	1
1-2	記載事項	1
1-3	留意事項	1
2	第2次安曇野市環境基本計画について	2
2-1	環境基本計画の基本事項	2
2-2	安曇野市の環境の現状	2
2-3	安曇野市がめざす環境のすがた	2
2-4	望ましい環境をつくるための取り組み	2
2-5	計画の推進体制と進行管理	2
3	安曇野市環境行動計画（2018—2022）について	2
4	安曇野市環境基本計画実施計画書について	2
5	2021（令和3）年度の取り組み	3
5-1	安曇野市環境審議会	3
5-2	環境基本計画の推進	4
5-3	環境行動計画の推進	4
5-4	環境指標達成状況	3 3
5-5	参加と協働	3 4
6	その他	3 5
6-1	安曇野市環境基本計画庁内調整会議	3 5
6-2	安曇野市生物多様性アドバイザー	3 5
6-3	安曇野環境市民ネットワーク	3 5
7	参考資料	3 9

1 年次報告書について

1-1 目的

[安曇野市環境基本条例](#)（以下「条例」という）第10条に基づき、市の環境の現状や環境の保全と創造に関して行った施策について公表するものです。市の環境の現状や課題、この一年の取り組みについて市民・事業者の皆様と情報共有するとともに、その評価や反省点を今後の施策の展開につなげていくことを目的としています。

1-2 記載事項

[第2次安曇野市環境基本計画](#)（以下「基本計画」という）、環境行動計画2018-2022（以下「行動計画」という）に基づき、本市が2021（令和3）年4月1日から2022（令和4）年3月31日までの間に取り組んだ環境に関する施策の実施状況を記載しています。

なお、省エネ・省コストを考慮し、以降の記載は前述の条例・計画の参照を前提とし、基本計画で定めた環境指標の状況や、行動計画において重点的に取り組むものとして選定された全27のプログラムの経過と結果を簡潔に記載するものとします。

本書の記述についての不明な点や取り組みの詳細は、基本計画のほか、[安曇野市里山再生計画等の環境に関連する個別計画](#)及びそれらに基づく報告書を参照していただくか、各取り組みの担当課までお問い合わせください。

1-3 留意事項

本書に記載の計画等は、市ホームページ上に公開されています。インターネット上で本書を閲覧されている場合は、初出の箇所（[青字](#)で記載）をクリックすると掲載ページへのリンクが開きますので、必要に応じてご活用ください。

2 第2次安曇野市環境基本計画について

2008（平成20）年に制定した[安曇野市環境宣言](#)を基本理念として、より良い安曇野の環境を実現するための行動指針となるもので、環境の保全および創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、望ましい環境のあり方や環境施策の基本的な方向性などを示しています。また、本市の最上位計画である[第2次安曇野市総合計画](#)を環境面から推進する役割を担っています。

2-1 環境基本計画の基本事項

基本計画策定の背景、第1次基本計画の評価、第2次基本計画の基本的事項について記述しています。詳細は、基本計画第1章（P1-18）を参照してください。

2-2 安曇野市の環境の現状

安曇野市の概況、自然環境、生活環境、資源循環・地球環境、参加・協働について記述しています。詳細は、基本計画第2章（P19-56）を参照してください。

2-3 安曇野市がめざす環境のすがた

安曇野市の環境づくりに向けて、望ましい環境像・基本目標、環境指標、計画の体系について記述しています。詳細は、基本計画第3章（P57-64）を参照してください。

2-4 望ましい環境をつくるための取り組み

取り組みの基本的な考え方、取り組みの推進（個別目標）、重点取り組みの推進について記述しています。詳細は、基本計画第4章（P65-102）を参照してください。

2-5 計画の推進体制と進行管理

推進体制、進行管理、その他の計画推進方法について記述しています。詳細は、基本計画第5章（P103-111）を参照してください。

3 安曇野市環境行動計画（2018-2022）について

基本計画で定めた51の重点取り組みのうち、目標を数値で把握できるものを中心に27のプログラムを抽出し、その目標達成のための具体的な進行管理の方法を示した行政計画の一つです。基本計画の前期にあたる2018年度から2022年度を計画期間としますが、各年のPDCAサイクルによる点検・評価と改善、社会情勢の変化等により、随時見直しを行います。

行動計画で選定した取り組みの実施状況は、本書6ページ以降に掲載しています。

4 安曇野市環境基本計画実施計画書について

行動計画で選定した取り組みをプログラム化し、一年間に実施する内容を具体的に示した計画書です。進行管理シートにより目標や結果、課題を管理し、見出された改善点を翌年の計画に反映します。

5 2021（令和3）年度の取り組み

本年度の取り組みを条例に基づくもの、行動計画に基づくもの、基本計画の4つの基本目標の一つである「参加と協働」に基づくものに区分し、順次記述します。

5-1 安曇野市環境審議会（条例第17条関係）

[環境審議会](#)を以下のとおり開催し、環境の保全及び創造に関する事項について審議しました。

期 日	回 数	内 容
2021（令和3）年 4月23日	第1回	(1)令和3年度環境課及び廃棄物対策課の当初予算概要について (2)令和3年度安曇野市一般廃棄物処理実施計画について (3)安曇野市空家等対策計画について
7月7日	第2回	(1)環境基本計画 令和2年度 年次報告書について (2)地球温暖化対策について
2022（令和4）年 1月19日	第3回 (中止)	(1)環境基本計画 令和3年度 年次報告（中間）について ※新型コロナウイルスの影響により中止
3月18日	第3回	(1)環境基本計画 令和3年度 年次報告書について (2)環境基本計画 令和4年度 実施計画書について

5-2 環境基本計画の推進

基本計画の基本目標4、個別目標15、主要施策47項目に基づく各種施策を展開しました。

5-2-1 重点取り組み

基本計画に定めた施策のうち、個別目標1から12にかかる51の重点取り組みについて、行動計画に選定したものを含め、各担当において取り組みを進めました。

5-3 環境行動計画の推進

基本計画に定めた51の重点取り組みのうち、環境指標に絡み、数値目標を定めて特に厳密に進行管理を行うべきものとして抽出した27のプログラムについての取り組み状況を次に示します。

○環境行動計画における重点取り組み一覧

種別	No.	重点取り組み	担当課・係
環境基本計画事業	1	シンボル種(オオルリジミなど地域の生態系を代表する種)やレッドリスト種などの保護活動を推進する。	環境課 環境政策係
	2	外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。	環境課 環境政策係
	3	悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。	環境課 環境保全係
	4	管理不十分な空家などへの指導をする。	環境課 空家対策室
	5	広報などで分別の徹底を啓発する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	6	事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	7	分別方法を分かりやすく説明する。	廃棄物対策課 廃棄物対策担当
	8	安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。	環境課 環境政策係
	9	地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。	環境課 環境政策係
	10	公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。	財産管理課 施設経営担当
	11	緑のカーテンの導入を推進する。	環境課 環境政策係
	12	住宅用太陽光発電の効果を検証する。	環境課 環境政策係

種別	No.	重点取り組み	担当課・係
各分野における基本計画事業	13	薪の地産地消率向上を推進する。	耕地林務課 林務担当
	14	里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。	耕地林務課 林務担当
	15	里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぶろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。	耕地林務課 林務担当
	16	松枯れ対策事業を継続して行う。	耕地林務課 林務担当
	17	農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。	農政課 農村振興担当
	18	荒廃農地対策を行う。	農政課 農村振興担当/農業委員会
	19	県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。	農政課 生産振興担当
	20	学校における食農教育を推進する。	農政課 農村振興担当/学校教育課 教育指導室
	21	鳥獣被害防止計画を策定(見直し)し、実施する。	耕地林務課 林務担当
	22	多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。	耕地林務課 耕地担当
	23	緑の恵みを感じることができる講座を開催する。	都市計画課 公園緑地係
	24	景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。	建築住宅課 建築景観係
	25	地下水涵養に資する手法等の調査・研究・試行を実施する。	環境課 環境保全係
	26	雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。	環境課 環境保全係
27	デマンド交通「あづみん」、「定時定路線」の運行を行う。	政策経営課 交通政策係	

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：環境課 環境政策係			
No. 1		シンボル種(オオルリジミなど地域の生態系を代表する種)やレッドリスト種などの保護活動を推進する。	
2. Do (実行)			
目標	実施結果(数値)	具体的な実施内容	期日等
[評価区分]	[結果/目標](%)		
①	2回・延べ69人	第1回 水の中に暮らす生きものたちの世界をのぞいてみよう(国営アルプスあづみの公園)、第2回 夜の森で活動する生きものを探してみよう(けやきの森自然園)、第3回 中止	8/21、 9/25
[定量-2]	66.7%・76.7%		
②	2回	公共事業などの自然保護に関する助言を受けた。・黒沢川左岸太陽パネル設置事業・市内西側山間部の堰堤事業・市内の公共事業に関する環境調査結果の情報共有など	7/27、 12/15
[定量-1]	実施		
③	1回	クララの苗配布イベントを6月26日午前中に堀金支所南側駐車場を実施した。・保護対策会議は時期を早めて1月29日午後1時にアルプスあづみの公園管理センターで実施した。	6/26、 1/29
[定量-1]	参加		
<small>※数量=1:実施回数、実施日数、実施回数×100%、実施回数/目標数量×100%、90~100%→A、80~89%→B、30~89%→C、10~29%→D、0~9%→E ※評価区分は、A:達成、B:ほぼ達成、C:一部達成、D:未達成、E:未実施</small>			
3. Check (点検・評価)			
目標	達成状況	審議会の評価	成果
[評価区分]			課題
①	B	B	・参加者アンケートに回答した組のうち、第1回は15/16組、第2回は17/12組が返答した。第2回は9月11日開催予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い9月25日に延期し、感染が落ち着いたら延期は無事実施できた。第3回は感染症の感染拡大防止のため中止した。参加者はカブトムシや水生昆虫であればケンゴロフなど、目玉となる昆虫をとても期待していたが、見れなかった際の参加者の失望も大きかった。
[定量-2]			・第1回は6月12日を予定していたが、新型コロナウイルス対策で7月27日に延期し、無事実施することができた。市内の環境課で把握できていない事業について、事業担当から積極的に情報収集の申し出があり、アドバイザー制度の事業にもアドバイザーが現地より詳細な状況を知ることができるよう、場合によっては調査結果だけでなく、調査過程も資料に示す必要がある。
②	A	A	・6月26日のクララの苗配布では、新型コロナウイルス対策を施しスムーズに配布できた。1月29日の保護対策会議では会議録の作成を行った。
[定量-1]			・オオルリジミが市自然記念物に指定されるタイミングでのイベントは、本種をPRするよい機会になるため、環境課として観察会や調査会を積極的に支援、協力する必要がある。
③	A	A	
[定量-1]			
13. 情報の充実			
・広報あづみの ・ホームページ ・安曇野エコプラン.net ・安曇野市版レッドデータブック			
14. 学ぶ・体験する			
・安曇野市生物多様性アドバイザー ・安曇野オオルリジミ保護対策会議			
15. 関連組織			
・環境課			
4. Action (改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	環境審議会意見
[評価区分]			
①	無	目標自体に変更の必要はないが、参加者が期待するような目玉となる昆虫が見られるように、開催の準備などに工夫が必要である。(トラップの事前設置など)	
[定量-2]			
②	有	自然保護事例の情報共有の体制を強化するため、環境の整備など、規模が大きくなる期間も長い事業は、定期的に環境調査結果を共有できるように事業主体と連携を密にする。加えて、令和4年度から6年度に安曇野市版レッドデータブックの改訂、令和5年度から令和6年度に第4回生きもの調査が予定されているため、上記2つの事業に関しても会議回数を増やしつつアドバイザーとの調整を密に進める必要がある。	
[定量-1]			
③	無	安曇野市教育委員会が作成中の保存活用計画(案)では、「環境課は第2次安曇野市環境基本計画の記載に基づき、文化財と連携して貴重な動植物の保全を担当する」とする位置が定められる可能性が高い。そのため目標自体に変更の必要はないが、内容としてクララの苗配布イベントに限らず、野外的なオオルリジミ観察会や市自然記念物指定に伴う講演会などにも積極的に協力する必要がある。	
[定量-1]			
・目標①について、次年度でカブトムシなどの目玉となる昆虫が見られるようにある。カブトムシなどは参加者からは好評であると思うが、No.1の目標はシンボル種やレッドリスト種などの保護活動を推進することである。カブトムシなどは導入としてはよいと思うが、計画が目標から逸れないように注意すべきである。 ・目標③について、クララの苗配布について、目標として求めているがないが当日の来場者数なども分かるように。			

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：環境課 環境保全係			
No. 2 外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する。			
2. Do (実行)			
目標	実施内容	具体的内容	予定期
[詳細区分]	目標(数値目標)		
① [定量-2]	特定外来生物リポーターの募集・情報提供依頼 新規登録者 5人	市広報紙、公式ホームページのほか、自然観察会等の機会を利用した募集案内	6/10 (通年)
② [定量-2]	駆除啓発に関する広報の実施 情報提供件数 50件	・市広報紙などによる駆除啓発 ・特定外来生物リポーター通信の発行	5/20 5月・12月
③ [定量-1]	市内道路などにおける駆除活動 駆除作業の実施	関係課のほか、安曇野建設事務所、土地改良区等と連携して駆除活動を実施	5月
4. Action (改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
[詳細区分]			
① [定量-2]	無	単に報告するだけでなく、積極的に駆除していただけたらという促す。	
② [定量-2]	無	ながの電子申請サービスは効率化に非常に有効であるため、各リポーターに通知をする際に積極的にながの電子申請サービスを利用するよう促す。	
③ [定量-1]	無	オオキンケイギク、オオハongoウの駆除に加え、オオカワヂシャの駆除についても計画的に実施する。	
環境審議会意見		<ul style="list-style-type: none"> ・目標①について、リポーター以外で報告いただいた方に、リポーターについて積極的に案内してはどうか。 ・リポーター以外の方からの報告も募集として残すことができるとよいと思う。 ・特定外来生物は法的な規制(移動、運搬など)があるため、単独に積極的な駆除を促してもなかなか捗らない場合がある。法的に問題のない駆除の手法などを周知するとよいと思われる。加えて、リポーター登録者で報告がない方にも協力の呼びかけを積極的に行う必要がある。 ・目標③について、計画の内容を幅広くした方がよいと思う。 	
3. Check (点検・評価)			
目標	達成状況	審議会の評価	成果課題
[詳細区分]			
① [定量-2]	E	E	登録者は増加しなかった。 リポーター制度の今後の展開
② [定量-2]	C	C	情報提供により駆除に繋がった。 ながの電子申請サービスの利用をさらに推進していく。
③ [定量-1]	A	A	増加しつつある憩いの池のオオカワヂシャを減少させることができた。 来年度以降の継続
13. 情報の充実			
<ul style="list-style-type: none"> ・広報あつみの ・市ホームページ ・啓発チラシ ・リポーター通信 			
14. 学ぶ・体験する			
15. 関連組織			

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：環境課 環境保全係			
No. 3		悪臭防止法に基づく臭気指数規制の適切な運用を図る。	
2. Do(実行)			
目標	実施内容	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容
[評価区分]			
① [定量-1]	広報等を活用し、法律規制内容の周知 年1回以上	2回 実施済	市民向けには、市広報紙へ掲載、事業者へは市商工会・工業会を通してチラシを配布し、臭気指数規制の周知を行った。
② [定量-2]	臭気指数規制対象事業場への改善対策指導 臭気指数基準超過事業場 0事業場	3事業場 0%	悪臭防止法に基づく臭気指数規制対策事業者に対し、改善を促すとともに、毎年夏場の臭気指数測定調査を7事業場に対して実施した。その結果3事業場で超過した。
③ [定量-2]	公害監視員による巡回・監視 1回/週	週2回(96日) 200%	公害監視員から提出された巡回月報報告書により、臭気発生状況、発生事業場(原因)を把握し、該当事業場へ情報共有をしている。事業者は、この内容を確認し臭気改善に取り組んでもらっている。
			※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画どおり中止した⇒C 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~99%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定性:良かった⇒A およびなかった⇒C 悪かった⇒E
3. Check(点検・評価)			
目標	達成状況	審議会の評価	成果課題
[評価区分]			
① [定量-1]	A	A	法規制後、市民・事業者全般に対し、規制制度について周知を行った。
② [定量-2]	E	E	臭気指数超過事業場に対し、臭気測定値・改善内容を促した。超過事業場数の目標を達成できなかった。
③ [定量-2]	A	A	公害監視員が農家巡回することで、該当畜産事業場の発生場所(位置)の確認ができ、詳細な指摘が可能になった。
13. 情報の充実		14. 学ぶ・体験する	
環境審議会 意見		15. 関連組織	
・臭気対策に国や県の補助金活用ができないか検討も必要だと思う。 ・関係者が動かざるを得ない仕組みの構築が必要だと思う。 ・市が財政支援も含め事業者と一体となって対策を進めてほしい。 ・量産野への移住を進めるためには環境の改善は重要である。		・広報あつみの ・チラシ	

【環境基本計画事業】		
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート		
担当：環境課 空家対策室		
1. Plan (計画)		
目標	実施内容	予定期
[評価区分]	目標(数値目標)	
①	空家対策補助金の交付による空家利活用及び解体における環境保全の促進 補助金交付30件	通年
[定量-2]		
②	空家相談会、講演会等の開催 年2回以上	通年
[定量-1]		
③	立ち入り調査に基づき適切な指導 特定空家の解消(1件以上)	通年
[定量-1]		
4. Action (改善)		
目標	結果の検証と次年度への展望など	
[評価区分]		
①	国の空家対策総合支援事業の活用や空家特措法及び民法改正などの動向に注視し、引き続き、所有者や移住者への補助金活用促進のため、普及啓発を行なう。補助事業の実績検証とともに地域の資源として空家を生かすことで活性化が促進されるよう令和4年度内に補助金制度のリニューアルを行う。	
[定量-2]		
②	空家発生抑制、適正管理、利活用促進など総合的に対策を講じるため、引き続き、相談会の充実(見学会、訪問相談、出前講座での出張相談)を図る。利活用の促進対策として、民間団体等と連携した地域の歴史や文化など魅力発信とあわせ、空家や空き店舗のマッチングを進めるまちあるき見学会を行う。	
[定量-1]		
③	特定空家等の所有者に対し、空家特措法に基づく助言、指導、勧告など必要に応じて行政措置を行い、課題の早期解消に努める。簡易危険度調査で劣化が進んでいる空家の再調査を行い、隣地への影響度を精査し、これらへの特定空家への認定を進めることで、所有者による自発的な解決を促す。	
[定量-1]		
環境審議会 意見	空家の解体にこだわらず、中古物件の活用も促進してほしい。 空家対策を考えている人で、補助金事業をしっかりと把握していないため事業を受けるタイミングを逸している人もいるので、そのことについてもしっかり把握して検証してほしい。 国の動向も踏まえ、対応してほしい。 所有者への対応は難しく、法規制など課題も多いが、安曇野への移住者が利用しやすい仕組みづくりを検討してほしい。	

No. 4	管理不十分な空家などへの指導をする。		
2. Do (実行)			
目標	実施結果(数値)	具体的な実施内容	
[評価区分]	[結果/目標](%)		
①	33件	補助金は2年目となり特定空家等の解体と移住リフォームの補助率・補助額を拡充し、4メニューの申請を受付。 ・片付け清掃補助 5件・貸家リフォーム補助 2件 ・空家解体補助 21件・移住リフォーム補助 5件	
[定量-2]	実施中(110%)		
②	4回	空家相談会・見学会及び空家への訪問相談会を実施。 「空家相談会・見学会」4名(明科・支所) 「訪問相談会」4名(豊科・堀金・明科) 空家啓発講演会、市民協働事業活動報告会(穂高交流学習センターみらい)	
[定量-1]	実施済(100%)		
③	6件	特定空家等重点支援空家について、助言、指導を実施。特定空家の解体1件(三郷)、2件(明科)、不良住宅の解体1件(豊科)、1件(穂高)、1件(明科)	
[定量-1]	実施中(600%)		
<small>※定量1:実施済/目標数値×100= 計画/達成率(%) ※定量2:実施済/目標数値×100= 90~100%⇒A 80~99%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定率/達成率/目標数値/達成率/計画/達成率</small>			
3. Check (点検・評価)			
目標	達成状況	審議会の評価	成果
[評価区分]			課題
①	A	A	補助金により需要が掘り起こされ、解体による環境保全や市場流通量の増加、移住者による空家活用が促進された。
[定量-2]			解体補助が全体の約64%を占めているため、移住や地方回帰などの利活用の需要に対応できるよう空き家バンクへの登録件数の充実が必要。
②	A	A	空家の見学と合わせ相談会を開催。後日、参加者の空家を訪問し相談することで、具体的な解決へのアドバイスにつながった。
[定量-1]			課題解決に向けて効果的な手法であるが、多くの件数をこなすには、民間との連携強化、協力体制の整理が必要。
③	A	A	地域環境や隣接地に影響を及ぼす特定空家や不良住宅への適正管理の助言や指導の成果として、解体が促進された。
[定量-1]			特定空家(6件)の早期解決に向けた所有者との交渉、支援
13. 情報の充実		14. 学ぶ・体験する	
<ul style="list-style-type: none"> ・広報あづみのホームページ ・空き家バンク 		<ul style="list-style-type: none"> ・空家相談会、空家空き店舗見学会、講演会 	
15. 関連組織		<ul style="list-style-type: none"> ・安曇野暮らし支援協議会 ・NEX-t安曇野 ・明科駅周辺まちづくり委員会 ・NPO法人安曇野ふるさとづくり応援団 	

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当： 廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
No. 5 広報などで分別の徹底を啓発する。			
2. Do(実行)			
目標 【評価区分】	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① 【定量-1】	広報などで分別の徹底を啓発する	・ごみ出し、分別の現状を組成調査等の結果から分析し、分別のあり方について再検討を行う。 ・ごみ処理の状況を公表し、減量化・資源化につなげる。	通年
② 【定量-2】	家庭用生ごみ処理機、コンポスター等の導入の推進 交付確定件数100件/年	購入補助金の交付 補助率：生ごみ処理機は購入費の2分の1、上限額1基につき3万円。生ごみ処理容器は購入費の3分の2、上限額1基につき3千円。	通年
③			
3. Check(点検・評価)			
目標 【評価区分】	達成※ 状況	審議会の 評価	成果 課題
① 【定量-1】	A	A	広報紙やホームページでの広報・周知を行うことができた。 分別アプリ、ホームページを活用した細かな情報発信。
② 【定量-2】	A	A	家庭用生ごみ処理機等への補助金交付確定件数は目標件数を上回ることができた。 事業所からの申し込みも3件あった。 事業所からの申し込み件数を増やす。
③			
4. Action(改善)			
目標 【評価区分】	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	環境審議会 意見
① 【定量-1】	無	引き続き、広報紙、ホームページ、分別アプリを活用し、ごみ減量化に必須となる食品ロスの削減に向けた啓発を行う。	
② 【定量-2】	有	生ごみ処理機の補助金は事業所も交付対象であることを周知し、事業所からの申し込みも増えるようにしたい。	
③			
13. 情報の充実			
・広報あつみの ・市ホームページ ・資源物・ごみ分別収集アプリ		14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当： 廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
1. Plan (計画)			
目標	実施内容	具体的な内容	予定時期
[評価区分]	目標(数値目標)		
①	事業系一般廃棄物の減量・資源化	・分別、減量化、資源化等でごみを減らしていただけるよう対応と協力を願います。 ・紙類、木くずは豊科リサイクルセンターに搬入できることを周知する。	通年
[定量-2]	303t/年の減		
②	収集運搬許可業者等との会議を開催	情報収集及び共有、収集したごみの展開検査等の実施。	6・2月
[定量-1]	年1回以上		
③			
[定量-1]			
4. Action (改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
[評価区分]			
①	有	引き続き、事業者に対してリサイクルセンターの活用や、生ごみ処理機の補助の利用等、ごみ減量化の周知を行う。	
[定量-2]			
②	無	現状の問題点や課題等を共有し、解決に向けて取り組み必要がある。	
[定量-1]			
③			
[定量-1]			
環境審議会意見			
ごみ量の増減について、月別などのより詳細なデータがほしい。どの時期に増減したかわかることで、要因を推測しやすくなる。今後、ごみ量の増加対策をするために、集計・報告方法の変更を検討してほしい。 ・コロナ禍、また、令和4年に解体工事におけるアスベスト法が改正されることに伴って、駆け込みで建物解体件数が増えている。これらの要因によってもごみ量の増減が変わってくるため、今後の市のごみ量の増減を予測するうえでデータの詳細化は必要だと思う。			

No. 6				事業者に対しごみの分別、減量化、資源化を指導する。			
2. Do (実行)							
目標	実施結果(数値)	具体的な実施内容	期日等				
[評価区分]	[結果/目標](%)						
①	296t増	11・12月に5社の企業訪問を行い、コロナ禍であったので25社にアンケートを送付(うち13社から回答)し、ごみの分別や排出状況の確認とごみ減量化について依頼した。 事業系ごみの排出量については、推計値によるR2との対比。	12月				
[定量-2]	皆増						
②	1	収集運搬業者等との会議は3月16日に実施予定。 展開検査は未実施	3月				
[定量-1]	100%						
③							
[定量-1]							
※定量-1:実施した回数 実施しない回数 計画外が中心とした回数 定量-2:実施回数/目標回数×100% 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~99%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定性:高かろう⇒A 中程度⇒B 低かろう⇒C							
3. Check (点検・評価)							
目標	達成状況	審議会の評価	成果課題				
[評価区分]							
①	E	E	企業訪問については行うことができたが、事業系一般廃棄物(可燃ごみ)の減量については、目標を達成できる見込みは厳しい状況である。 事業者に対する周知の方法				
[定量-2]							
②	A	A	なし				
[定量-1]			なし				
③							
[定量-1]							
13. 情報の充実							
・広報あつみの ・市ホームページ				14. 学ぶ・体験する		15. 関連組織	
						・安曇野市商工会 ・安曇野市清掃事業協同組合	

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当： 廃棄物対策課 廃棄物対策担当			
No. 7 分別方法を分かりやすく説明する。			
2. Do (実行)			
目標	実施内容	具体的な内容	予定時期
[評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)		
① [定量-2]	3,302 107%	ごみ分別促進アプリの普及促進と情報の配信 利用者数3,000件/年	通年
② [定量-2]	9 900%	環境フェア等における展示と出前講座の開催 年1回以上の開催	10月
③			
3. Check (点検・評価)			
目標	達成状況	審議会の評価	成果
[評価区分]			課題
① [定量-2]	A	A	ゴミ分別促進アプリの利用者数は年々増えてきている。
② [定量-2]	A	A	登録内容を定期的に確認し、見直しをこまめに行うことが必要 小学生を対象とした説明会では、ごみを減らす工夫(3R)についての説明や小学生を対象とした3R学習資料等を配布し、啓発を図ることができた。
③			なし
13. 情報の充実			
環境審議会意見		・市ホームページで段ボール堆肥の作り方や堆肥の使い方をまとめて掲載すると分かりやすい。暖かい地域と寒い地域で堆肥の作り方も変わってくるので、安曇野市の気候に合わせた独自の段ボール堆肥の作り方を模索するとよいのではないか。	15. 関連組織
		・広報あつみの ・市ホームページ ・資源物・ごみ分別収集アプリ	14. 学ぶ・体験する

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：環境課 環境政策係			
No. 8		安曇野市地球温暖化防止実行計画に基づき、省エネルギーに配慮した行動を行う。	
2. Do(実行)			
目標	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [評価区分] [定量-1]	実施済	環境経営レポートの作成、ホームページでの公表 内部監査の実施 職員研修 中間評価の実施	8/19 8/26、27 10/19-11/5 12/27
② [定量-1]	未実施	新型コロナウイルスの影響により、県が予約受付を停止しているため、今年度は実施しないこととした。	—
③ [定量-1]	実施済	LAPSSへのデータ登録、施設管理者へのアカウント発行、マニュアル配布、LAPSSを用いたエネルギー使用量の報告、取りまとめ	通年
※定量-1:実施済み⇒A 実施しない⇒E 計画どおり中止し⇒C 定量-2:実施回数/目標回数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E			
3. Check(点検・評価)			
目標	達成※ 状況	審議会 の評価	成果 課題
① [評価区分] [定量-1]	A	A	内部監査、職員研修の実施により、職員の環境意識向上と環境経営レポートの認知度向上を図ることができた。 内部監査等での指摘事項や優良事項の水平展開。 環境意識向上のために職員研修の参加者を増やす。
② [定量-1]	E	E	未実施 県の方針をふまえて実施を検討する必要がある。
③ [定量-1]	A	A	各課担当者にLAPSSにログインをしてもらい、エネルギー使用量の取りまとめを実施した。 報告期限に入力を終えていない対象施設が見受けられる。
13. 情報の充実		14. 学ぶ・体験する	15. 関連組織
市ホームページ		対象外	エコアクション21中央事務局・地域事務局
4. Action(改善)			
目標	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [評価区分] [定量-1]	無	指摘事項や優良事項を職員間で情報共有し、全体的なしレベルアップや当事者意識の向上を図っていく。 職員研修では参加しやすい質問を作成し、参加者を増やす。	
② [定量-1]	有	県の方針をふまえて実施を検討していく。	
③ [定量-1]	無	LAPSSの機能を活用した効率的な運用を図っていく。	
環境審議会 意見		・行政の立場として、市有施設の省エネと住民サービスとのバランスをとりながら省エネ活動を継続していくほしい。 ・目標③の4.Action(改善)、次年度への展望として「県の方針をふまえて、実施を検討していく。」との記載があるが、「県の予約が再開したら実施する」という記載のほうが適切ではないか。	

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：環境課 環境政策係			
No. 9 地球温暖化防止の取り組みの「見える化」を促進する。			
2. Do(実行)			
目標	実施内容	具体的な実施内容	期待等
[評価区分] ① 新規登録者15世帯 [定量-2] 150%	環境家計簿モニターの募集 新規登録者 10世帯	広報紙、市ホームページなどの募集案内	12/15
[評価区分] ② エネルギー使用量の集計 回収率 70世帯	半年ごとの記録票の収集 結果のまとめ及び広報紙、市ホームページへの掲載、モニターへのお知らせ	半年ごとの記録票の収集 結果のまとめ及び広報紙、市ホームページへの掲載 モニターへのお知らせ	7月1月
[評価区分] ③ 地球温暖化対策実行計画(2022年度改定予定)の検討 基本方針の決定	国、県等の動向、世論等の調査 緩和策、適応策の調査 策定体制の検討、整備	国、県等の動向の調査 緩和策、適応策の調査 策定体制の検討、整備	通年
3. Check(点検・評価)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	成果
[評価区分] ① 広報紙、ホームページ等を広く活用し、参加者の増加と市民意識の向上を図っていく。 職員の参加を増やす方法も検討する。	無	広報紙、ホームページ等を広く活用し、参加者の増加と市民意識の向上を図っていく。 職員の参加を増やす方法も検討する。	成果 課題
[評価区分] ② 参加者の増加と、「ながの電子申請サービス」の利用拡大による事業実施に伴うCO2排出量の削減を目指す。	無	参加者の増加と、「ながの電子申請サービス」の利用拡大による事業実施に伴うCO2排出量の削減を目指す。	① A ② B ③ A
[評価区分] ③ 改定に向け、国や県の方針を踏まえた上で、安曇野市独自の取り組みやSDGsなど新たな取り組みを検討する。	無	改定に向け、国や県の方針を踏まえた上で、安曇野市独自の取り組みやSDGsなど新たな取り組みを検討する。	環境家計簿と「CO2削減コンテンツ」を統合して実施した。 回収率の向上と事業実施に伴うCO2排出量の削減
[評価区分] 環境審議会意見		・2025年の住宅を含めた省エネ基準への適合義務化、カーボンニュートラル、世界の地球温暖化対策への現状、今後地球温暖化が進んだ先に何が起こるのかなど、市民が知らない情報を集めて、今から行動してもらえようという広報活動をしてほしい。 ・長野県地球温暖化防止活動推進員有志で作成している「省エネガイドブック」もあるので参考にしたい。	地球温暖化対策実行計画を第2次安曇野市環境基本計画の改定に組み込んでいく。改定にむけたスケジュールの作成。 市独自の取り組みを検討する必要がある。
13. 情報の充実			
14. 学ぶ・体験する			
15. 関連組織			
環境家計簿 環境家計簿 長野県産業環境保全協会 安曇野工業会 安曇野地球温暖化協議会など			

【環境基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：財産管理課 施設経営担当

No. 10 公共施設を建設する際に省エネ機器・設備を率先導入する。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	高効率照明器具の採用 照明のLED化(100%)	新築・改修物件でLED照明の採用	通年
② [定量-2]	省エネ設備の導入 トイレ機器・冷暖房機器(100%)	新築・改修物件で省エネ設備の採用	通年
③ [定量-1]	冷房負荷の低減 断熱性能の向上(新築100%)	断熱性能の高い建材・建具等での熱負荷の低減	通年

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	5件 100%	設計において、LED照明を採用(公共施設トイレ、公園トイレ、駅前トイレ改築工事、宿泊施設照明改修工事)	4月~3月
② [定量-2]	9件 100%	設計において、節水型便器を採用(公園トイレ、学校トイレ改修工事)また、省エネエアコンを採用(認定こども園、小学校、宿泊施設空調設備改修工事)	4月~3月
③ [定量-1]	2件 100%	設計において高断熱の建材を採用(公園トイレ、駅前トイレ改築工事)	4月~3月

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	設備投資費と節電のバランスを意識し、使用状況に応じた器具を選定する。
② [定量-2]	無	設備投資費と節水・節電のバランスを意識し、使用状況に応じた器具を選定する。
③ [定量-1]	無	

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成状況	審議会の評価	成果課題
① [定量-2]	A	A	全ての設計でLED照明器具を採用した。 特になし。
② [定量-2]	A	A	全ての設計で省エネ設備を採用した。 特になし。
③ [定量-1]	A	A	全ての設計で高断熱性能の建材を採用した。 特になし。

環境審議会
意見

・住みやすさを維持しながら省エネを実施する方法のひとつとして、人感センサー付きの照明機器や水道の導入も考えられる。今後導入を検討してほしい。小中学校の壁や窓の断熱改修を行ってほしい。また、太陽光発電システム設置は省エネも含めて危機管理のうえでも必要のため、設置を検討してほしい。

13. 情報の充実

竣工パンフレット作成支援
施設見学の受入支援

14. 学ぶ・体験する

15. 関連組織
対象外

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：環境課 環境政策係			
No. 11 緑のカーテンの導入を推進する。			
2. Do (実行)			
目標	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	実施済 -	「地球温暖化」～安曇野も例外ではありません～ (環境課職員) 緑のカーテン(ゴーヤ)の作り方 (NPO法人 あづみ野風土舎)	5月
② [定量-2]	38施設 95%	市内インフォメーション及び苗配布により勧奨 育て方資料の配布	4～6月
③ [定量-1]	実施済 -	広報紙、ホームページへの掲載、チラシ配布による募集 環境フェア中止のため、本庁舎にてほか2か所(環境ネット ワークショップ)で開催	12月～1 月
※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C 定量-2:実施数/目標数×100= 80～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E 定性:良かった⇒A 悪かった⇒E			
3. Check (点検・評価)			
目標	達成状況	審議会の評価	成果課題
① [定量-1]	A	A	参加者52人(定員以上の申込があった) 参加者増
② [定量-2]	A	A	実施38施設 実施施設増
③ [定量-1]	A	A	応募10件(前年度比-7) 応募者増
13. 情報の充実			14. 学ぶ・体験する
広報あづみの ホームページ 安曇野エコプラン.net			緑のカーテン講座 安曇野環境フェア NPO法人 あづみ野風土舎
4. Action (改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-1]	無	広報紙、ホームページ等を広く活用し、効果と講座開催を周知していく。	
② [定量-2]	無	市民への啓発という意味も含め、市民利用が多い、窓が大きい、EA21対象等の条件に合致する施設を優先して勧奨していく。	
③ [定量-1]	無	上記(①②)により、参加者・実施施設増とあわせ、応募者増を目指す。	
環境審議会 意見		・継続した取り組み、広報活動を願いたい。 ・緑のカーテン促進の次段階として、松枯れの問題も踏まえ、木を植える活動を広げてほしい。	

【環境基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当	環境課 環境政策係		
No. 12 住宅用太陽光発電の効果を検証する。			
2. Do (実行)			
目標	実施内容	具体的な内容	予定時期
[評価区分]	目標(数値目標)		
①	太陽光発電システム設置への補助金交付130件	1kwあたり20,000円(5kwを上限)とした補助金の交付	通年
[定量-2]			
②	新エネルギーの普及に資する制度の検討	地球温暖化対策実行計画に盛り込む取り組みと整合する新エネルギーの普及に資する制度の設計を行う	通年
[定量-1]	制度(案)設計 1案以上		
③	信州屋根ソーラー太陽光発電設備等共同購入事業(長野県)への協力	県との情報交換 広報等への協力	通年
[定量-1]	広報等での協力		
3. Check (点検・評価)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	成果
[評価区分]			課題
①	無	申請書の受付の際に、実績報告書提出期限の説明を徹底する 未提出の方には、前もって期限内の提出を催促する	交付決定141件 実績報告書の提出が年度内に完了しないことがある
[定量-2]			
②	有	地球温暖化への関心が高まり、太陽光発電設備の導入に関する補助金の需要が増えている 国、県の方針を踏まえ、予算の変更等を視野に入れた制度の設計を検討する	今後の助成方針を検討した 国、県の方針をふまえて制度の設計を行う必要がある
[定量-1]			
③	無	補助金の周知を行い、市と県の補助金の併用により、さらなる自然エネルギーの導入を促進する	広報誌、ホームページでの周知 市と県の補助金をあわせて周知することにより、一層の自然エネルギー導入の促進が見込める
[定量-1]			
環境審議会意見		・太陽光発電システム設置への補助金に合わせて、蓄電池への補助金も検討してほしい。 ・2025年に住宅を含めた省エネ基準への適合義務化が始まる。ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)が標準になり、新築の住宅には太陽光発電システムを設置せざるを得ない状況になる。こういった情勢や市内の年間新築件数を踏まえて、予算の拡大や蓄電池への補助を検討してほしい。	14. 学ぶ・体験する 15. 関連組織
広報あつみの市ホームページ			安曇野環境フェア
13. 情報の充実			
14. 学ぶ・体験する			
15. 関連組織			

【各分野における基本計画事業】
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：耕地林務課 林務担当

No. 13 薪の地産地消費率向上を推進する。

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	安曇野産の薪供給体制の整備推進 体制整備推進のPU会議等の開催3回 以上	・プロジェクト会議の開催 ・山林所有者や事業者との生産供給体制 整備を目的とした交流及び検討 ・薪の生産・研修会等の開催	通年
② [定量-2]	薪ボイラーへの薪供給 薪の提供量 年間300m ³	・しゃくなげの湯への薪の提供	通年
③			

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	7回 233%	・里山まきの環プロジェクト会議の開催 6回 ・プロジェクトメンバーと山林所有者で山林調査会を1回実施 及び、山林所有者との連絡調整随時実施 ・里山市における薪及び原木の販売	通年
② [定量-2]	231m ³ 77%	・しゃくなげの湯への薪の提供	通年
③			

※定量-1:実施した回数 実施しない回数 計画どおり実施した回数
 定量-2:実施数量/目標数量×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定率:長かつた⇒F 定率:長かつた⇒G 定率:長かつた⇒E

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	安曇野産の薪供給体制の基盤となる、生産フェイルド確保等を山林所有者の意向を踏まえ、プロジェクト等との連携体制を構築し、継続していく必要がある。
② [定量-2]	無	供給量の減少。薪の供給は行われているが、需要において薪の使用量が減ってきている。使用者側へ薪使用量の拡大を促していく必要がある。
③		

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	プロジェクト会議等の開催7回 山林所有者(薪生産フェイルド所有者)の意向を踏まえた活動の展開が課題。
② [定量-2]	B	松枯れ材の薪231m ³ を供給 安定供給するための原木確保。薪の使用量の減。
③		

環境審議会
意見

推進組織等
意見
(主な推進組織の名称:里山再生計画推進協議会)
 ・見つけたフェイルドが薪生産に適さなかったとしても、他のプロジェクトで活用できそうなら繋いでいくという柔軟な発想を持つことが必要である。

【各分野における基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当： 耕地林務課 林務担当			
No. 14		里山で生産される間伐材など「安曇野材」を活用できる生産・流通の仕組みづくりを行う。	
2. Do(実行)			
目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	実施結果(数値) [結果/目標](%)	期日等
① [定量-2]	里山木材活用プロジェクト会議等の開催 ・木材供給調整 ・安曇野材PR会議開催 ・安曇野材の情報共有・交換	11回 380%	通年
② [定量-2]	あつみの里山市の開催 ・安曇野材のPR ・新型コロナウイルス感染症防止対策と り実施	218人 73%	11月
③ [定量-2]			
※定量-1:実施した回数 達成しない⇒E 計画どおり⇒C 定量-2:実施回数/目標回数×100= 90~100%⇒A 60~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E			
3. Check(点検・評価)			
目標 [評価区分]	達成状況	成果 課題	
① [定量-2]	A	5回のプロジェクト会議、9回の安曇野材会議を開催 あつみの材の供給・需要情報の共有、カード発行	
② [定量-2]	B	あつみの里山市を開催し、218人の集客があった。 新型コロナウイルス感染症防止対策をとり、事前予約により入場制限実施。	
③ [定量-2]			
推進組織等 意見 (主な推進組織の名称: 里山再生計画推進協議会) ・安曇野材が活用されている供給先をもっと見えるようにしていく方法が考えられないか。 ・アカマツの天板企画が決定したことは良かった。 ・里山再生へのつながりをより具体的な課題内容にしていきたい。			
4. Action(改善)			
目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-2]	無	プロジェクト会議、安曇野材を使用した住宅見学会等の開催により、安曇野材の利用状況等の情報共有が図られた。広く周知を図るため、今後も継続していく必要がある。	
② [定量-2]	無	第6回里山市が開催され、身近に安曇野材に触れる機会と安曇野材の利用促進が図られた。新型コロナウイルスの感染防止対策として、事前予約制による入場制限を行い、密を回避し安心して参加いただけた。	
③ [定量-2]			
環境審議会 意見 ・目標①~②について、実際にどれくらい安曇野材が使われたのか。イベント的に実施したとの評価はこれでよいが、より具体的な情報も欲しい。			

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当： 耕地林務課 林務担当

No. 15		里山で活動するための技術・知識を身につけるための「さとぶろ。学校」の年間を通じた講座運営をする。	
2. Do(実行)			
目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	9回 300%	・里山学びの環プロジェクト会議の開催 3回 ・「さとぶろ。学校」運営会議の開催 6回	通年
② [定量-2]	6回・43人 100%・72%	・「さとぶろ。学校」16講開催 ・年間6回・延べ受講者数43人	4月 ～ 11月
③			
3. Check(点検・評価)			
目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題	
① [定量-2]	A	プロジェクト会議3回、運営会議6回の開催 「さとぶろ。学校」カリキュラムや運営方法の検討	
② [定量-2]	B	「さとぶろ。学校」16講の開催 受講生同士の交流方法の検討	
③			
4. Action(改善)			
目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-2]	無	3回のプロジェクト会議のほか、「さとぶろ。学校」の運営会議を6回開催した。「さとぶろ。学校」終了後に他の活動団体を紹介し、ほぼ全員が体験し、加入する者も現れている。今後も継続していく必要がある。	
② [定量-2]	無	第6期の「さとぶろ。学校」が開催され、8人の生徒が受講した。コロナ禍の中、感染防止の対策を徹底し、基本カリキュラムを柱に、楽しく学べる講座を企画・運営し、継続して実施する。	
③			
環境審議会 意見		<p>・目標①～②について、No.13から目標に対しての結果が300%となり大きい数値になっているものがある。もう少し思い切った数値目標を設けてもよいのではないかと、また、目標②の実施結果で「さとぶろ。学校」の運営に進展することができたという点もある。</p> <p>・目標①の2. Do(実行)の回数は何を加算したのかよく分からない。また、目標②の43人も何を加算したのか分からない。「さとぶろ。学校」も6回、講、期と表現が分かれている。</p> <p>・表現を統一してほしいと思う。</p>	<p>(主な推進組織の名称：里山再生計画推進協議会)</p> <p>・さとぶろ。学校終了後、受講生が「さとぶろ。」プロジェクトへの参加が多く、人材供給の役割が果たされており良い。</p>

【各分野における基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当： 耕地林務課 林務担当			
No. 16		松枯れ対策事業を継続して行う。	
2. Do (実行)			
目標	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	567本(57%) 176%	・松枯損木伐倒くん蒸処理の実施 ・処理計画区域(三郷・堀金)	通年
② [定量-2]	処理本数0本 100%	・薬剤散布による防除 ・実施計画面積5ha/年	6月
③ [定量-2]	13本(130%) 77%	・樹幹注入による予防 ・処理区域5ha	11月 ～ 3月
<small>※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C 定量-2:実施数/目標数×100⇒ 80～100%⇒A 60～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E 定性:良かった⇒A 悪かった⇒E</small>			
3. Check (点検・評価)			
目標	達成※ 状況	成果 課題	
① [定量-2]	A	全体の伐倒くん蒸処理 区域内(堀金・三郷)の枯損木の処理 希少動植物への配慮。守るべき松林の範囲検討。	
② [定量-2]	A	有人へりによる散布を5ha実施 守るべき松林の範囲検討。希少動植物への配慮。	
③ [定量-2]	B	全木樹幹注入による予防ができた。 樹幹注入の効果期間の適正管理による継続的な実施。	
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称：松くい虫被害対策協議会) 意見：他の場所では空中散布を行わないのはいかがでしょうか。 回答：県防除実施基準などの散布の条件が厳しいため、他の場所では難しいと考えております。	
4. Action (改善)			
目標	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-2]	無	年間処理本数1,000本は下回っているもの、その年により被害量の変動もあり、被害を抑制するに至っていない。費用対効果については、松くい虫被害対策協議会において検証を行っていく。	
② [定量-2]	無	無人へりによる薬剤散布を本年度から廃止。薬剤散布に替わる対策として令和2年度から樹幹注入により範囲を限定して対策を実施。有人へりについては計画通り実施していく。	
③ [定量-2]	無	樹幹注入した松の枯損は少なく、注入できていない松の枯損が進んでいないが、全木注入が完了し、今後継続的な更新が必要となる。	
環境審議会 意見		・目標①～③について、松枯損木とあるが、松枯れて枯れた松のことでよいか。4. Action(改善)には処理本数1,000本の記載がある。 ・伐倒くん蒸処理されているというところは松枯れの木であることだと思うが、表現が分かりにくい部分がある。 ・内容的には環境に配慮して実施し、松枯れ対策の効果も出ていると思われるが、表現をもう少し分かりやすくしてもらいたい。	

【各分野における基本計画事業】
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 農村振興担当

No. 17		農地を計画的に保全し、農業生産と田園景観の基盤を守る。	
2. Do(実行)			
目標	実施内容	具体的な内容	予定時期
[評価区分]	目標(数値目標)		
①	認定農業者数の確保・育成 認定農業者数270人	「人・農地プラン」の策定による担い手の掘り起こし 新規就農者の確保	2月～3月
[定量-2]			
②	集落営農組織の設立支援 集落営農組織数27組織	集落懇談会への参加による支援	通年
[定量-2]			
③			
[定量-2]			
3. Check(点検・評価)			
目標	達成状況	成果	課題
[評価区分]			
①	A	新規申請15件、再申請26件受理 高齢農家で申請書がわかりづらいと言っている。	
[定量-2]			
②	A	懇談会1集落参加 集落内でも多様な考えの方がおり、地域合意が難しい。	
[定量-2]			
③			
[定量-2]			
4. Action(改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
[評価区分]			
①	無	国の様式のため変更はできないが、記入例の案内など農家に寄り添った支援をしていく。	
[定量-2]			
②	無	役員と相談により、資料提供、助言等をしていく。	
[定量-2]			
③			
[定量-2]			
環境審議会 意見 ・認定農業者数は増加しているが、中山間地では課題が多いので、地域の実状も考慮した取組みをしてほしい。 ・農業のメリットを発信し、魅力を認してもらえようとする対策が必要だと思う。 ・地元の米(粉)の消費が拡大すれば、価格も安定すると思うので、産地別の取組みを推進してほしい。 ・移住者からの農業に関する相談が多いので、法制的ハードルが高いが、産地農地を提供できる体制づくり、農地バンクの充実などを図ってほしい。 ・新規就農者に対する市の窓口をつくり、研修などの支援体制づくりも必要だと思う。			
推進組織等 意見 (主な推進組織の名称：農業・農村振興計画推進委員会) ・若者の離農対策のためには稼げる農業にする施策の展開の他に、コミュニティへの受け入れをやすくする対策も必要。 ・後継者対策として、種がはせる親世代が若手の輩を聞き入れるように意識改革させることも必要。 ・担い手を外から呼び込む策も考えていかなければいけない。 ・法人や営農組織に就農する農業者に対する支援も進めてほしい。			

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 農村振興担当/農業委員会

No. 18

荒廃農地対策を行う。

少ない方がよい値であるため、
・上段に、目標に対する割合(結果/目標)
・下段に、定量2評価の割合(目標/結果)
を記載しています。

1. Plan(計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-2]	荒廃農地の解消支援 荒廃農地面積40ha	・荒廃農地の発生・解消状況に関する調査及び意向調査の実施 ・荒廃農地解消支援金(市単)の活用	通年
②			
③			

2. Do(実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	36.5ha(91.3%) 110%	・荒廃農地の状況調査(農業委員会) ・荒廃農地解消補助金交付申請2件受付	
②			
③			

4. Action(改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-2]	無	申請者とスケジュールの確認を行い、適正な事業期間をとるよう助言する
②		
③		

3. Check(点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-2]	A	荒廃農地解消補助金活用して、1.2ha解消済。 年度内完了が困難な場合もある。
②		
③		

環境審議会
意見

・管理されていない荒廃農地の周辺で困っている人も多いので、対応策として広報での呼びかけなど市で対応を検討してほしい。
・荒廃農地の取得希望者もいると思うので、法規制のハードルは高いが、荒廃農地の売買の仕組みについて検討してほしい。
・空家に付随した農地の有効活用の検討をしてほしい。

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称：農業・農村振興計画推進委員会)
・若者の離農対策のためには募げる農業にする施策の展開の他に、コミュニティへの受け入れをしやすい対策も必要。
・耕作放棄地の発生抑制のために新規就農者の確保は必要であるが、荒廃地化した条件不利農地を新規就農者に担わせることは慎重に検討しなければならない。

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：農政課 生産振興担当

No. 19

県知事認定の「エコファーマー」制度の推進に協力する。

1. Plan (計画)

目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期
① [定量-1]	環境に配慮した安全・安心な農業講座の開設 年2回	直売所生産者や、多面的機能支払交付金事業取組地区の農業者等を対象に、環境に配慮した農業に関する講座を開催する。	11月～3月
②			
③			

2. Do (実行)

目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-1]	年0回 0/2(0%)	新型コロナウイルスの影響で人を会場に集める形式の講座の開催が出来なかった。	
②			
③			

4. Action (改善)

目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など
① [定量-1]	無	オンラインの形式の講座を開催するなど手法は考えられるが、現状では難しい面がある。
②		
③		

3. Check (点検・評価)

目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題
① [定量-1]	C	直売所生産者を対象に環境に配慮した農業に関する講座を開催する予定であったが、コロナ禍において開催することができなかった。 コロナ禍において、人を集めて開催することが難しい状況がある。
②		
③		

環境審議会
意見

・環境に配慮した取組みを推進してほしい。

推進組織等
意見

(主な推進組織の名称：農業・農村振興計画推進委員会)

特になし

【各分野における基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：農政課農村振興担当・学校教育課 教育指導室			
1. Plan (計画)			
目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定時期
① [定量-2]	食農教育(教育ファーム)の推進 小中学校17校(年間)	小中学校での農業体験を実施することで、「食」の根本である農業に関する知識を身につけ、食への感謝の心を育む食農教育を推進する。	通年
②			
③			
<small>※定量-1:実施済み⇒A 実施済み⇒E 計画どおり⇒B 計画どおり⇒C 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 80~99%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定率:100%⇒A 80%⇒B 60%⇒C 40%⇒D 20%⇒E</small>			
2. Do (実行)			
目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	17校 100%	学校ごとに、米作り、野菜栽培、調理実習など食と農に関わる取り組みが行われている。	
②			
③			
3. Check (点検・評価)			
目標 [評価区分]	達成状況	成果 課題	
① [定量-2]	A	全ての小中学校で実施しており、食と農の大切さを知り感謝の心を育む教育とが実践されている。 コロナの影響で、収穫祭や生産者との交流の機会が減少。	
②			
③			
(主な推進組織の名称：農業・農村振興計画推進委員会) ・食育の施策を進めてほしい。 ・農業を体験する機会を設けることで、子どもたちの興味関心を引き出し、将来の後継者づくりに寄与できると考えている。			
4. Action (改善)			
目標 [評価区分]	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-2]	無	農業体験を通じて、子供たちの農や食に対する興味・関心が深まっているため、現在の取り組みを維持していく。	
②			
③			
・SDGsの視点も重視して取り組みをしてほしい。 ・米粉の利用促進など具体的な活動も計画で検討してほしい。 ・学校の取組みは進んでいるので、市も協力をし、お互いのニーズを探りながら、取組みをしてほしい。 ・小学校へ入学する前の低年齢の段階から教育をしてもよいのではないかと。			

【各分野における基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当： 耕地林務課 林務担当			
No. 21		鳥獣被害防止計画を策定(見直し)し、実施する。	
2. Do(実行)			
目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な実施内容	予定時期
① [定量-2]	農作物鳥獣被害対策支援 農作物被害金額7,542千円	・安曇野市野生鳥獣被害防止対策補助金の活用 ・地域に適した対策の研究	通年
② [定量-2]	有害鳥獣捕獲推進 大型獣捕獲計画数計170頭	・狩猟免許の取得支援 ・捕獲技術の高度化支援	通年
③			
<small>※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C 定量-2:実施数/目標数×100= 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E</small>			
3. Check(点検・評価)			
目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題	期日等
① [定量-2]	A	サルにGPS装置を装着でき、モンキーの追払いに活用できた。 サルの行動範囲が広がり、箇所ごとの対応が必要になっている。	通年 7月 3月
② [定量-2]	B	農業被害をもたらす二ホンジカの個体数調整を実施した。 豚コレラによりイノシシの個体が昨年は減少したが、増えてきている。	3月末 通年
③			
環境審議会 意見		推進組織等 意見	
(主な推進組織の名称: 農業・農村振興計画推進委員会)			
4. Action(改善)			
目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-2]	無	引き続き、農家個人による自己対策を推進するとともに、地域と連携した広域対策としてサルにGPS装置を装着しての追払いを検討していく。	
② [定量-2]	無	大型獣の捕獲を引き続き実施しの農林業被害を軽減していく。	
③			
<small>・目標①について、安曇野市の現状は知らないが、果ては農作物被害金額を定めて対策を講じたところ、現時点では被害金額が七分の一程度にまで減少している。そこから感じだが、高い被害金額を目標にすることは現実的かどうか悩ましい。低い被害金額でもよいと思う。参考意見としてほしい。 ・目標②について、実施中で評価が難しいと思う。2. Do(実行)に現時点の捕獲頭数を記入してもよいと思う。また、計画数170頭とあるように数字まで掲げているため、方法も記載してほしいと思う。 ・170頭という目標になっているが、何が何でもこの頭数を捕まえないといけない。全体の個体数調整が大切であると思うので、その点が反映された目標に変えるべきだと思う。</small>			

【各分野における基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：耕地林務課 耕地担当			
No. 22 多面的機能支払交付金事業の運用・啓発を図る。			
2. Do (実行)			
目標 [詳細区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [定量-2]	2回 100	広域協定運営委員会の会長会を2回、地域役員会を1回開催し、活動組織への交付金の支払い方法の改善、長寿命化交付金の協定組織内流用について検討した。	12月～ 1月
② [定量-2]	3643ha 100%	現在活動中の組織に事業範囲の確認、見直しを要請した。また新規組織発足に向けて出前講座を開催した。	5月～12 月
③			
<small>※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画したが中止した⇒C 定量-2:実施回数/目標回数×100% 90%～100%⇒A 80%～89%⇒B 30%～59%⇒C 10%～29%⇒D 0%⇒E 定性:良かった⇒A ぶつかなかった⇒C 悪かった⇒E</small>			
3. Check (点検・評価)			
目標 [詳細区分]	達成※ 状況	成果 課題	
① [定量-2]	A	広域組織の会長会を2回、各地域委員会役員会を1回開催し事務軽減の検討を進めることができた。 さらに事務軽減を進める必要がある。	
② [定量-2]	A	既存組織の取組面積が拡大した。 事業面積をさらに拡大し、田園風景の保全を進める必要がある。	
③			
推進組織等 意見 特になし (主な推進組織の名称:農業・農村振興計画推進委員会)			
4. Action (改善)			
目標 [詳細区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [定量-2]	無	作業費金支払いの口座振替への変更、仮払いによる交付金事務の簡略化を進める方向で事務軽減の検討ができた。	
② [定量-2]	無	事業取組面積の増が進んだが、新規取組組織発足に向けて広く市内に普及啓発を推進する必要がある。	
③			
環境審議会 意見 ・管理などは大変ではあるが、子ども達に対しても良い影響があるので、取組みを推進してほしい。 ・昔ながらの堰普請などは地域の絆が深まるので、事業の中で今後も継続していきけるようにしてほしい。 ・長野県内の先行事例を参考に、安曇野ならではの小水力事業の促進につながる取組みをしてほしい。			

【各分野における基本計画事業】

環境基本計画 重点取り組み PDCAシート

担当：都市計画課 公園緑地係

No. 23		緑の恵みを感じることができる講座を開催する。	
2. Do(実行)			
目標	実施結果(数値)	具体的な実施内容	期日等
[評価区分]	[結果/目標](%)		
①	5回・148人	①樹木観賞ツアー(春10人、秋12人) ②コミュニティガーデン講座(13人) ③焼き芋会・おちばひろい(105人) ④ハンギングバスケットづくり講座(8人)	
[定量-2]	100%(回数) 100%(人数)		
②			
③		①樹木観賞ツアー春6/10(木)、秋11/11(木) ②コミュニティガーデン講座10/30(土) ③焼き芋会・おちばひろい11/27(土) ④ハンギングバスケットづくり講座12/4(土)	
[定量-2]			
<small>※定量-1:実施した回数 実施した回数÷計画した回数×100 定量-2:実施回数/目標回数×100= 90~100%⇒A 80~99%⇒B 30~99%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E 定性:良かった⇒A 良かった⇒B 良かった⇒C 良かった⇒E</small>			
3. Check(点検・評価)			
目標	達成状況	成果	課題
[評価区分]			
①	A	コロナ禍においても、感染対策と開催日調整を慎重に行った結果、予定以上の参加があった。 市民の緑化意識を高める施策を計画し、自宅や公共緑地に花や緑あふれる空間を増やす取り組みをさらに拡大する必要がある。	
[定量-2]			
②			
③			
[定量-2]			
4. Action(改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	環境審議会意見
[評価区分]			
①	無	緑化意識を高める取り組みを引き続き進め将来に繋げる。 更に市民や企業の関心を引く斬新な取り組みを積極的に企画していきたい。	・植樹や花壇づくりは、地域コミュニケーション形成にとって意味があるので、市も積極的に支援してほしい。 ・緑化は重要であるが、交通安全を十分に配慮したうえでの取組みとしなければいけない。 ・安曇野ならではの花に関係した毎年恒例となるようなイベントを立ち上げてほしい。
[定量-2]			
②			
③			
[定量-2]			
(主な推進組織の名称：(仮称)みどりのまちづくり推進会議) みどりのまちづくり会議はR4年4月設置予定			

【各分野/における基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：建築住宅課 建築景観係			
No. 24 景観条例や屋外広告物条例の運用・啓発を行う。			
2. Do(実行)			
目標	実施結果(教値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等
① [評価区分] [定量-1]	景観関係の研修 2回	景観条例、屋外広告物条例に関する講座の開催	1は11/8 2は11/30
② [定量-1]	屋外広告物定期パトロール 4月～3月まで24回	屋外広告物の定期パトロールにより、未申請案件の把握と適正な指導を行う。	毎月2回
③		重要路線の定期コースを2名で巡視、写真等記録	
<small>※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画どおり中止した⇒C 定量-2:実施数量/目標数量×100% 90～100%⇒A 80～89%⇒B 30～59%⇒C 10～29%⇒D 0～9%⇒E 定性:良かった⇒A ふつうだった⇒C 悪かった⇒E</small>			
3. Check(点検・評価)			
目標	達成※ 状況	成果	課題
① [評価区分] [定量-1]	C	安曇野のよさの再認識と市外の美観地域を参考にすることで活動の参考を認識できた。	安曇野のよさの再認識と市外の美観地域を参考にすることで活動の参考を認識できた。 コロナ禍で講座をやる機会がなかなか得られなかった。
② [定量-1]	A	申請なく盤面変更が行なわれていた案件など指導し、手続きしてもらった。	申請なく盤面変更が行なわれていた案件など指導し、手続きしてもらった。 看板業者の着手前申請の周知徹底がむずかしい。
③			
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称：景観審議会)	
環境審議会 意見		・引き続き取り組みを推進してほしい。	
4. Action(改善)			
目標	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など	
① [評価区分] [定量-1]	無	実施内容については柔軟性を持って景観保護の重要性を訴えてもよいと思う。	
② [定量-1]	無	実施すれば成果はあるので引き続き実施したい。	
③			

【各分野における基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：環境課 環境保全係			
1. Plan(計画)			
目標	実施内容	具体的な内容	予定時期
[評価区分]	目標(数値目標)		
① [定量-2]	地下水講座等の開催 参加者延200人以上	出前授業(児童・生徒等)・出前講座(区・企業等)及び市民参加体験プログラムの実施	通年
② [定量-2]	人為的な地下水涵養 120万m ³ /年	水資源対策協議会における涵養施策の検討	通年
③			

No. 25	地下水涵養に資する手法等の調査・研究・試行を実施する。		
2. Do(実行)			
目標	実施結果(数値)	具体的な実施内容	期日等
[評価区分]	[結果/目標](%)		
① [定量-2]	178人(5回) 93.5%	5/24 安曇野市消費者の会(20人)、6/8 堀金小学校4年生(66人)、6/22 豊科小学校4年生(91人)、8/5 穂高南小学校4年生(1人)、8/19 安曇野制作実行委員会(10人)	5月~6月、8月
② [定量-2]	181.1万m ³ 151%	人為的な地下水涵養施策に向けて他課と協力し取り組んだ。 ・表後湛水事業 作付面積92.9ha 102.1万m ³ ・新精養軒米(飼料)作付面積132.2ha(H28年度 作付面積100.3m ²) 面積(31.9ha)×涵養高(0.0275m/日)×水田湛水日数(90日)	通年
③			

※定量-1:実施した⇒A 実施しない⇒E 計画どおり中止した⇒C
 定量-2:実施数量/目標数量×100⇒ 90~100%⇒A 80~89%⇒B 30~59%⇒C 10~29%⇒D 0~9%⇒E
 定性:良かった⇒A 良かった⇒C 悪かった⇒E

3. Check(点検・評価)			
目標	達成状況	成果	課題
[評価区分]			
① [定量-2]	A	コロナ禍であったが、小学校2校、団体2団体、個人1名に対して、出前授業・講座を実施することができた。	
② [定量-2]	A	数値目標の達成に向けて取り組んだが、達成することが出来た。 作付面積(状況)と水利用により、人為的涵養事業には限りがある。	
③			

4. Action(改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	環境審議会 意見
[評価区分]			
① [定量-2]	無	引き続き、出前授業・講座を実施していき、市民等に向けた効果的な学習の場を広げられるよう検討していく。	
② [定量-2]	有	引き続き、新たな人為的地下水涵養施策を研究していく。	
③			
環境審議会 意見	・特になし		(主な推進組織の名称:水環境審議会) R3年度において、水環境基本計画、同行動計画を見直し、次年度に向けてグリーンインフラを目的とした涵養施策を検討していく。

【各分野における基本計画事業】				
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート				
担当：環境課 環境保全係				
1. Plan (計画)				
目標 [評価区分]	実施内容 目標(数値目標)	具体的な内容	予定 時期	
① [定量-2]	雨水貯留槽施設設置補助 12基/年	水の節水を目的に、市民向けへ施設設置補助の周知及び設置数の増を進める。	通年	
②				
③				
4. Action (改善)				
目標 [評価区分]	変更の 必要性	結果の検証と次年度への展望など		
① [定量-2]	無	新しい周知方法を検討しながら、多くの申請希望者へ周知していきたい。		
②				
③				
環境審議会 意見		<ul style="list-style-type: none"> ・目標①について、新しい周知方法として、実際に補助金を使って設置された雨水貯留槽の利用状況を調べて、PRの具材にして発信していけば効果的だと思ふ。 ・No.2(外来生物の分布状況を把握し、その悪影響に関する普及啓発を実施する)のリポーターも同じやり方でPRしていきたいと思う。 		

No. 26	雨水貯留施設の設置に対する補助を行う。			
2. Do (実行)				
目標 [評価区分]	実施結果(数値) [結果/目標](%)	具体的な実施内容	期日等	
① [定量-2]	11基 92%	雨水貯留施設設置及び補助金の活用を促すため、市広報紙、市HP、市内資機材店舗内にPRチラシを置きPRを推進した。		
②				
③				
3. Check (点検・評価)				
目標 [評価区分]	達成※ 状況	成果 課題		
① [定量-2]	A	年度目標基数を達成することができた。 その他の新しい周知方法を検討しPRしていく。		
②				
③				
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:水環境審議会) 特になし		

【各分野における基本計画事業】			
環境基本計画 重点取り組み PDCAシート			
担当：政策経営課 交通政策係			
No. 27		デマンド交通「あづみん」、「定時定路線」の運行を行う。	
2. Do(実行)			
目標	実施内容	具体的な実施内容	予定期
[評価区分]	目標(数値目標)		
①	あづみん(デマンド交通、定時定路線)の運行 デマンド交通利用者88,000人/年	・あづみん(デマンド交通、定時定路線)の運行 ・地域公共交通網形成計画中間評価に基づいた事業の検討	通年
[定量-2]			
②	利便性の向上に向けた検討 ・協議会部会での会議年2回		通年
[定量-1]			
③			
[定量-3]			
<small>達成率=1:実施した⇒A 実施しない⇒E 中間した中止した⇒C 達成率=2:実施数/目標数×100= 80~100%⇒A 60~80%⇒B 30~50%⇒C 10~20%⇒D 0~0%⇒E 達成率=3:実施した⇒A 実施しない⇒E 中間した中止した⇒C 達成率=4:実施数/目標数×100= 80~100%⇒A 60~80%⇒B 30~50%⇒C 10~20%⇒D 0~0%⇒E</small>			
3. Check(点検・評価)			
目標	達成状況	成果	
[評価区分]		課題	
①	B	コロナの影響を考慮しても、安定した利用をいただいている 目標人数の達成が困難	
[定量-2]			
②	A	デマンドの課題を整理し、改善策を提案できた	
[定量-1]			
③			
[定量-3]			
推進組織等 意見		(主な推進組織の名称:地域公共交通協議会) 5月実施時意見なし	
4. Action(改善)			
目標	変更の必要性	結果の検証と次年度への展望など	
[評価区分]			
①	無	引き続き安定運行に努めたい。	
[定量-2]			
②	無	デマンドの改善について、次年度は実行に移る。試行と評価を行い、市民ニーズに併せた運行を実現させたい。	
[定量-1]			
③			
[定量-3]			
環境審議会 意見		<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通「あづみん」は長年取り組んでいる事業であるため、単に利便性を高めるだけでなく、色々な手帳や他市の実証実験を参考に新しい取り組みをしてほしい。5年、10年先を見据えて、安曇野市にほどういうデマンド交通が適しているのかを模索して行ってほしい。 ・少子高齢化がさらに進んだときのことを見込んで、新しいシステムの導入を検討してほしい。 	

5 - 4 環境指標達成状況（基本計画P 62-63）

環境基本計画で定めた環境指標の達成状況を下表に示します。

個別目標	環境指標	基準年 (2016年度)	予定年 (2017年度)	第1年次 (2018年度)	第2年次 (2019年度)	第3年次 (2020年度)	第4年次 (2021年度)	第5年次 (2022年度)	目標 (2022年度)
1 山岳地をまもる	山岳に関するイベントの参加者数 (登山マナーの普及啓発を含む)	3,800 人/年	4,000 人/年	3,000 人/年	3,500 人/年	0 人/年	0 人/年		4,500 人/年
		84.4%	88.9%	66.7%	77.8%	0.0%	0.0%		100.0%
2 里山をまもる	安曇野材の年間利用実績	150 m/年	154 m/年	113 m/年	160 m/年				220 m/年
		68.2%	70.0%	51.4%	72.7%				100.0%
	里山学校の年間受講者数(延べ)	105 人/年	283 人/年	352 人/年	101 人/年	33 人/年	43 人/年		150 人/年
		70.0%	188.7%	234.7%	67.3%	22.0%	28.7%		100.0%
3 里地をまもる	認定農業者数	267 経営体	273 経営体	281 経営体	283 経営体	273 経営体	288 経営体		270 経営体
		98.9%	101.1%	104.1%	104.8%	101.1%	106.7%		100.0%
	集落営農組織数	27 組織	27 組織	27 組織	27 組織	27 組織	27 組織		28 組織
		96.4%	96.4%	96.4%	96.4%	96.4%	96.4%		100.0%
4 川や水辺をまもる	多面的機能支援交付金事業活動組織数	51 組織	54 組織	57 組織	56 組織	57 組織	57 組織		61 組織(注1)
		83.6%	88.5%	93.4%	91.8%	93.4%	93.4%		100.0%
5 生きものをまもる	「生きもの調査」の実施		-	1 回/5年	-	-	-		1 回/5年
		#VALUE!	#VALUE!	100.0%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		100.0%
	特定外来種駆除活動の参加者数	7,790 人/年	7,228 人/年	6,923 人/年	7,194 人/年	3,054 人/年	4,607 人/年		8,000 人/年
		97.4%	90.4%	86.5%	89.9%	38.2%	57.6%		100.0%
6 身近な自然とふれあう	1人当たり都市公園・その他公園の面積(国営・県営公園を除く)	7.9 m/人	7.9 m/人	7.9 m/人	8.2 m/人	8.2 m/人	8.2 m/人		9.2 m/人(注2)
		85.9%	85.9%	85.9%	89.1%	89.1%	89.1%		100.0%
	緑の恵みを感じることができる講座の開催	2 回/年	4 回/年	4 回/年	4 回/年	3 回/年	5 回/年		4 回/年
		50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	75.0%	125.0%		100.0%
7 景観や歴史・文化を大切に	景観づくり講座開催回数	0 回/年	1 回/年	1 回/年	0 回/年	2 回/年	2 回/年		5 回/年
		0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	40.0%		100.0%
8 豊かできれいな水の環境をまもる	上水道普及率	99.0%	99.0%	99.1%	99.8%	99.2%	98.7%		100.0%(注2)
		99.0%	99.0%	99.1%	99.8%	99.2%	98.7%		100.0%
	水洗化率	81.9%	84.0%	84.6%	85.3%	86.3%	86.9%		88.9%
		92.1%	94.5%	95.2%	96.0%	97.1%	97.8%		100.0%
	人為的な地下水涵養農地面積(新規需要米等転作推進事業)	100.2 ha	112.8 ha	113.1 ha	116.0 ha	107.7 ha	132.2 ha		150.0 ha
		66.8%	75.2%	75.4%	77.3%	71.8%	88.1%		100.0%
9 きれいな空気と静かな環境をまもる	窒素酸化物・ダイオキシン類濃度測定値 ※R2年度でダイオキシン類調査業務廃止	基準値以下(注3)	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下	基準値以下		基準値以下(注3)
	自動車交通騒音測定値基準値超過地点	1 地点	1 地点	1 地点	1 地点	1 地点	0 地点		0 地点
		-	-	-	-	-	-		-
10 公害・化学物質などの問題をなくす	苦情件数 (①空家苦情、②悪臭苦情、③空地苦情)	265 件/年	254 件/年	179 件/年	143 件/年	97 件/年	206 件/年		220 件/年
		120.5%	115.5%	81.4%	65.0%	44.1%	93.6%		100.0%
11 ごみを少なくする	市民1日1人当たりのごみ排出量(R4.1.31現在の推計値)	787 g/人・年	785 g/人・年	796 g/人・年	790 g/人・年	801 g/人・年	681 g/人・年		736 g/人・年
		106.9%	106.7%	108.2%	107.3%	108.8%	88.1%		100.0%
	資源物排出量(R4.1.31現在の推計値)	3,354 t/年	2,995 t/年	2,793 t/年	2,648 t/年	2,585 t/年	2,048 t/年		3,142 t/年
		106.7%	95.3%	88.9%	84.3%	82.3%	78.5%		100.0%
	事業系可燃ごみ排出量(R4.1.31現在の推計値)	10,859 t/年	11,088 t/年	11,162 t/年	11,549 t/年	11,427 t/年	9,769 t/年		10,639 t/年
		102.1%	104.2%	104.9%	108.6%	107.4%	78.5%		100.0%
12 地球温暖化に対応する	安曇野市域の温室効果ガス排出量(注4)	77.3 万t-CO2/年	77.8 万t-CO2/年	70.5 万t-CO2/年	2022年に推計	2023年に推計			71.5 万t-CO2/年(注5)
		108.1%	108.8%	98.6%	#VALUE!	#VALUE!			100.0%
	2015(平成27)年度基準年に対する市の事務事業における温室効果ガス削減率	-14.69%	-9.44%	-15.64%	-18.06%	-21.63%	2022年度に推計		-4.90%(注5)
		299.8%	192.7%	319.2%	368.6%	441.4%	#VALUE!		100.0%
	「あづみん」(テマンド交通)の利用者数	85,365 人/年	85,123 人/年	86,273 人/年	86,681 人/年	75,970 人/年	78,975 人/年		88,000 人/年
		97.0%	96.7%	98.0%	98.5%	86.3%	89.7%		100.0%
13 環境情報を充実させる	安曇野エコプラン.netアクセス数	-	1,030 件/年	2,080 件/年	3,772 件/年	2,297 件/年	3,406 件/年		3,500 件/年
		-	29.4%	59.4%	107.8%	65.6%	97.3%		100.0%
14 環境について学ぶ、体験する	安曇野市環境市民ネットワークによる環境学習プログラムの提供数	24 件/年	24 件/年	24 件/年	24 件/年	23 件/年	21 件/年		30 件/年
		80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	76.7%	70.0%		100.0%
	安曇野環境フェア来場者数	1,900 人/年	1,700 人/年	1,800 人/年	台風により中止	新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの影響により中止		2,100 人/年
		90.5%	81.0%	85.7%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		100.0%
	信州型自然保育(注6)を受ける児童の割合	52.0 %/年	53.9 %/年	54.4 %/年	57.9 %/年	58.9 %/年	58.5 %/年		54.0 %/年
		96.3%	99.8%	100.7%	107.2%	109.1%	108.3%		100.0%
	行動計画に基づく環境学習の開催数	9 回/年	10 回/年	10 回/年	12 回/年	4 回/年	4 回/年		10 回/年
		90.0%	100.0%	100.0%	120.0%	40.0%	40.0%		100.0%
15 環境保全活動を発する	環境美化活動団体数(累計)	217 団体/年	215 団体/年	307 団体/年	346 団体/年	358 団体/年	411 団体/年		277 団体/年
		78.3%	77.6%	110.8%	124.9%	129.2%	114.8%		100.0%
	環境美化活動参加者数(累計)	34,187 人/年	31,894 人/年	42,538 人/年	42,422 人/年	35,008 人/年	35,942 人/年		36,000 人/年
		95.0%	88.6%	118.2%	117.8%	97.2%	102.7%		100.0%

注1) 個別計画の2021年度目標値
 注2) 個別計画の2026年度目標値
 注3) 窒素酸化物濃度基準値: 0.04~0.06ppm範囲内又はそれ以下(日平均値)
 ダイオキシン類濃度基準値: 0.6pg-TEQ/m³以下(年平均値)
 注4) 都道府県別エネルギー消費統計の推計方法変更等に伴い、過年度分に遡って修正。今後も推計方法の変更により、基準・目標年度の値も含め修正する可能性がある。
 注5) 個別目標の2020年度目標値
 注6) 「信州型自然保育」の詳細は、第2次安曇野市環境基本計画97ページのコラム内を参照。

5-5 参加と協働

基本計画に定めた施策のうち、個別目標13から15にかかる施策について、各担当が取り組みを進めました。ここでは、環境情報の充実や環境学習の推進、環境保全活動の活発のために環境課が行った取り組みのうち、参加と協働という視点で特徴的だった事業についてのみ記述します。

(1) 安曇野環境フェア2021 (※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)

【開催概要】

- ア) コンセプト 豊かで美しい自然環境を守り、快適な生活環境を次代につなぐまちをつくろう！
- イ) テーマ SDGsで考える。安曇野の環境
- ウ) 主催 安曇野市、安曇野環境フェア2021 実行委員会
- エ) 共催 安曇野環境市民ネットワーク
- オ) 日時 令和3年10月23日(土) 9時30分～16時
24日(日) 9時～16時
- カ) 会場 安曇野市堀金総合体育館(安曇野市堀金烏川2662)
- キ) 来場者数 1日目：__人 2日目：__人 計__人(※中止)

(2) 環境ネットワーク展

【開催概要】

- ア) 内容 中止となった安曇野環境フェア2021のメインテーマであった「SDGsで考える。安曇野の環境」を題材に、例年環境フェアに出展いただいている団体や企業の活動、緑のカーテン写真展などをSDGsの個別目標を当てはめつつ紹介する巡回展示を実施。
- イ) 主催 安曇野市、安曇野環境フェア2021 実行委員会
- ウ) 共催 安曇野環境市民ネットワーク
- エ) 期間・場所 令和3年11月22日(月)～12月2日(木)
堀金支所 市民活動室
令和3年12月4日(土)～12月17日(金)
明科支所 1階ホール

6 その他

6-1 安曇野市環境基本計画庁内調整会議（安曇野市環境基本計画庁内調整会議設置要綱）

環境基本計画庁内調整会議において、基本計画及び行動計画の進捗状況の確認と課題の検討を行うとともに、各種施策の調整を行いました。また、実施計画書及び年次報告書の原案や、これまでの取り組みの点検・評価の結果、関連計画の改定を踏まえて行動計画の改定案を作成し、審議会への報告を行いました。

6-2 安曇野市生物多様性アドバイザー（安曇野市生物多様性アドバイザー設置要綱）

安曇野市の豊かな自然環境や動植物種の多様性を将来にわたり維持していくことを目的に、安曇野市版レッドデータブック等で著された希少生物の保護及び重要な自然環境の保全等に関し、専門家の意見を聴くため、連絡会議を2回開催したほか、必要に応じて意見照会を行いました。

6-3 安曇野環境市民ネットワーク

6-3-1 概要と事業内容

安曇野環境市民ネットワーク（以下「ネットワーク」という）は、市内または各地域において環境保全のための活動を行っている団体や個人が集まり、協働や連絡・調整を行うことによって、より良い安曇野の環境を創出することを目的として平成21年9月に発足しました。

事業内容は、大きく分けて①コミュニケーション、②環境学習の企画と実施、③環境基本計画および行動計画の実施、④普及啓発の4つです。

令和3年度の組織体制及び事業内容は次のとおりです。

（1）組織体制

- 1) 会員構成 : 25団体、3個人
- 2) 役員構成 : 運営委員 14人（座長 1人、副座長 1人、会計 1人、監事 1人含む）
- 3) 事務局 : 安曇野市 市民生活部 環境課

（2）事業内容

- 1) 主催事業
- 1) -①運営委員会、総会、環境講座「環カフェ」

実施日	会議等名称	内 容
2021(令和3)年 5月30日	第1回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑のカーテン講座」 ① 「地球温暖化」～安曇野も例外ではありません～ ② 「緑のカーテンの育て方講座（ゴーヤ編）」 ・講師等 ① 安曇野市環境課職員 ② NPO法人あづみ野風土舎の皆様 ・参加者：52人
11月27日	第2回 「環カフェ」	<ul style="list-style-type: none"> ① SDGsと市内の環境活動について ② 身近な行動から地域を守ろう～矢原堰クリーニング大作戦を通して～ ③ 地域や学校は学習の宝 ・講師等 ① 安曇野市環境課職員 ② 豊科北小学校4年3組の児童の皆さん ③ 4年3組担任 矢野 司 教諭 ・参加者：41人
2022(令和4)年 1月27日	運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度総会について ※新型コロナウイルス感染防止のため書面開催
3月10日	総会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告及び収支決算 ・令和4年度事業計画（案）及び収支予算（案） ・役員改選（令和4～5年度） ※同日予定していた第3回「環カフェ」は中止

1) -②環境学習プログラムの推進事業

『安曇野環境市民ネットワーク 団体活動紹介・環境学習プログラム』パンフレットを作成・配布しました。計500部を印刷して、市内小・中学校及び市内公民館（中央・分館）などへ配布・設置しました。

1) -③登録団体間の情報交換及び情報発信事業

登録団体の開催するイベントや環境関連の様々な情報について、メーリングリスト、Webページ「[安曇野エコプラン.net](http://anadonoecoplanet.net)」上での情報発信（5回）などを行いました。

また、主催・共催事業の開催にあたっては広報紙で周知したほか、必要に応じてチラシを作成し、公共施設及び市内小・中学校等に配布しました。

2) 共催事業

2) -①安曇野環境フェア2021（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

ア) 安曇野環境フェア実行委員として協力

イ) 出展・発表

2) -②環境ネットワーク展

- ア) 安曇野環境フェア実行委員として協力
- イ) 出展

3) 後援事業

3) -①ネットワーク登録団体等の関連イベントの後援及び情報発信

ネットワーク登録団体の関連イベントについて後援を行ったほか、メーリングリスト、Web ページ「安曇野エコプラン.net」上での情報発信を行いました。

4) 協力事業

4) -① 学校や市民団体等からの講師依頼対応（環境学習資源の有効活用に係わるコーディネート）

自然観察講座、アルプスあづみの公園管理センターが主催する「さとやま楽校」の一部講座について、ネットワーク加入団体が講師を務め、地域の学生や住民への環境学習推進にご尽力いただきました。加えて、「特定外来生物オオカワヂシャ駆除」にご参加いただきました。

2021（令和3）年度 明科中学校の総合的な学習の時間「ホームタウン明科」

（※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止）

2021（令和3）年度 さとやま楽校

実施日	内容	講師等
4月25日 5月15日 6月6日、26日 7月4日 8月8日 9月5日、11日 10月2日、 17日、24日	やまこの教室 「飼育林準備」ほか8回 参加者：延べ210人	やまこの学校
5月23日 6月19日、26日 7月3日、31日 9月11日、25日 11月3日	田んぼの教室 「田植え」ほか5回 参加者：延べ220人	みのむしの会 生活協同組合 コープながの 岩原の自然と文化を守り育てる会
5月9日 6月5日 7月10日	里山いきもの教室 「初夏の生き物観察」ほか3回 参加者：延べ63人	三郷昆虫クラブ 田淵行男記念館こども自然観察教室 「むしの会」

8月1日 9月4日 (雨天中止)		信州生物多様性ネットきずな
1月26日 2月9日、23日 3月9日、23日	案内人の教室 「ガイダンス」ほか4回 参加者：10人	NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団 安曇野案内人倶楽部

特定外来生物オオカワヂシャ駆除

【開催概要】

- ア) 内容 オオカワヂシャを1,310kg駆除しました。
- イ) 主催 安曇野市 都市計画課
- ウ) 日時 令和3年7月6日(月) 午前9時～正午
- エ) 場所 安曇野わさび田湧水群公園(憩いの池)
- オ) 参加者 14人(特定外来生物リポーターなども含む)

4) -②安曇野市環境審議会、環境基本計画庁内調整会議との連携・協力

安曇野市環境基本計画・環境行動計画との連携、協力として、安曇野市版環境家計簿、特定外来生物リポーター事業等へ参加しました。

また、審議会にネットワーク加入団体の年度内活動状況について報告しました。

5) 参加団体による活動

ネットワーク登録団体間や環境審議会との情報共有を目的として活動状況アンケートを実施したところ、全25団体のうち18団体より回答がありました。

また、複数の団体から、令和3年度は新型コロナウイルスの感染症の影響でイベント開催できなかった旨の連絡をいただきました。

なお、アンケート結果の詳細を参考資料として次ページ以降に示します。

7 参考資料

令和3年度 安曇野環境市民ネットワーク 活動アンケート結果

ネットワーク登録団体間や、環境審議会との情報共有を目的として、登録団体の令和3年度における活動状況についてアンケートを依頼したところ、全 25 団体のうち、18 団体から活動実施について回答いただきました。また、いくつかの団体から、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響でイベントの規模を縮小または中止した旨の連絡をいただきました。

○報告を受けた団体一覧

活動分野	団体名
生活	安曇野市消費者の会
地球温暖化	安曇野地球温暖化協議会
景観	安曇野百選プロジェクト
環境	アルプスあづみの公園管理センター
景観	アルプス花街道実行委員会
景観	潮沢ロマンの会
環境	NPO 法人 あづみ野風土舎
景観、農林	NPO 法人 安曇野ふるさとづくり応援団
自然、環境	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会
自然	烏川溪谷緑地 環境管理事務所
景観	三角島ふるさとの森プロジェクト
自然、生活	生活協同組合コープながの
自然	田淵行男記念館 こども自然観察教室「むしの会」
自然、景観	特定非営利活動法人 森倶楽部 21
地球温暖化	マイ箸づくりサポートボランティア
景観	屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
自然	野生生物資料情報室
自然	やまこの学校

(50 音順)

■令和3年度 安曇野環境市民ネットワーク登録団体 年間活動状況

アンケート回答がありました団体の年間活動記録について以下に掲載します。

団体名	安曇野市消費者の会
記入者名	会長 平田 米子

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
6月21日	ダンボール堆肥作り研修会実施 (講師:生活協同組合 コープながの)	市役所	18人
7月29日	シソジュース作り	加工センター	16人
8月20日	野菜ソース作り	加工センター	18人
10月9日	長野県地球温暖化防止活動推進員(3名)による 研修会(15周年記念講演会「地球温暖化～私たちに出来る事～」)	安曇野市豊科 交流学习センター「きぼう」	55人
11月14日	福神漬作り コンニャク作り	加工センター	両講座とも 17人
12月13日	りんごジュース作り	加工センター	11人
6, 7, 10月	豆腐作り	加工センター	30人
11月27日	第2回環カフェ 豊科北小学校児童による水環境に関わる取り組み	堀金公民館 講堂	1人
2月22日 ～26日	味噌作り	加工センター	予定

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 15周年記念講演会「地球温暖化～私たちに出来る事～」

理由 : 県地球温暖化防止活動推進員3名の方がそれぞれ専門分野の立場でお話され、改めて自分の生き方を見直したり早速取り入れたりしてみようと実施しています。また、「我が家はどれくらいCO₂を出しているのか知りたくなった！」など反響が大きかった。

団体名	安曇野地球温暖化協議会
記入者名	樋口 嘉一

講演・講座・イベント等

日付	名称・活動等	会場	参加人数
5月14日 6月4日 7月2日	長野県地球温暖化防止活動推進員有志と事務局にて「信州版夏の省エネガイドブック～2021年度改訂版～」を作成、長野県地球温暖化防止活動推進センターHPに掲載	WEB 会議	13人 事務局
6月8日 7月9日 8月6日 11月19日	市内企業のSDGs活動実践指導会	市内企業	5人
10月9日	安曇野市消費者の会にて「地球温暖化～私たちに出来る事～」について講演	安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」	55人
11月9日 ～21日	安曇野市市民活動フェスタ 2021 に出展及びステージ発表	安曇野市役所本庁舎、安曇野市豊科交流学習センター「きぼう」	—
11月22日 ～12月2日 12月4日 ～17日	環境ネットワーク展に出展	堀金支所、明科支所	—

交流・会議・活動等

日付	名称・活動等	会場	参加人数
7月6日	特定外来生物「オオカワジシャの駆除」に参加	安曇野わさび田湧水群公園	30人
4月23日 7月7日 3月18日	安曇野市環境審議会に出席	安曇野市役所本庁舎	15人 事務局
2月8日	第1回安曇野市総合計画審議会に出席	安曇野市役所本庁舎	21人 事務局

研修・研鑽等

日付	名称・活動等	会場	参加人数
6月15日	第10期長野県地球温暖化防止活動推進員委嘱式及び研修会に出席	WEB 会議	45人

7～2月 ／全8回	地域循環共生圏コーディネーター育成講座に 出席	WEB 会議	30 人
9～1月 ／全4回	ゼロカーボンナビゲーター養成講座に出席	WEB 会議	10 人
10月21日	「家庭の省エネアドバイザースキルアップ研修 会」に出席	WEB 会議	34 人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：安曇野市消費者の会にて「地球温暖化～私たちに出来る事～」について講演
理 由：安曇野市消費者の会15周年記念講演会で長野県地球温暖化防止活動推進員有志3名がリレー形式で地球温暖化防止の講演を実施しました。来場者から「日頃なにげなく行っていることが、地球温暖化に資する大切なこと、もっと意識して生活するようにしたい」との意見が出され有意義でした。

団体名	安曇野百選プロジェクト
記入者名	宮崎 崇徳

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
11月22日 ～12月20日	ビューポイントフォトコンテスト2021	サイト内	—
2月6日	穂高神社探求探検ウォークラリー	穂高神社	30人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：ビューポイントフォトコンテスト2021
理 由：たくさんの応募があった。

団体名	アルプスあづみの公園管理センター
記入者名	市民協働係 須之部 大

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月25日 5月15日 6月6日、26日	さとやま楽校 やまこの教室 「飼育林準備」ほか8回	国営アルプス あづみの公園 里山文化	延べ 210人

7月4日 8月8日 9月5日、11日 10月2日、17日 24日		ゾーン	
5月9日 6月5日 7月10日 8月1日 9月4日(中止)	さとやま楽校 里山生きもの教室 「初夏の生きもの観察」ほか3回	国営アルプス あづみの公園 里山文化 ゾーン	延べ63人
5月23日 6月19日、26日 7月3日、31日 9月11日、25日 11月3日	さとやま楽校 田んぼの教室 「田植え」ほか5回	国営アルプス あづみの公園 里山文化 ゾーン	延べ 220人
1月26日 2月9日、23日 3月9日、23日	さとやま楽校 案内人の教室 「ガイドンス」ほか4回	国営アルプス あづみの公園 里山文化 ゾーン	10人
9月11日	里山文化ゾーンイベント 夜の鳴く虫観察会	国営アルプス あづみの公園 里山文化 ゾーン	15人
9月20日	里山文化ゾーンイベント 馬耕実演	国営アルプス あづみの公園 里山文化 ゾーン	20人
9月23日	里山文化ゾーンイベント 魅惑のゲンゴロウ探し	国営アルプス あづみの公園 里山文化 ゾーン	28人
9月23日	里山文化ゾーンイベント 里山さるかに合戦	国営アルプス あづみの公園 里山文化 ゾーン	18人
10月2日	里山文化ゾーンイベント オオルリシジミの食草クララ植栽イベント	国営アルプス あづみの公園 里山文化 ゾーン	7人

2月16日 (中止) (延期予定)	環境教育指導者養成 プロジェクト・ワイルド(水辺編) 一般指導者講習会	アルプスあづ みの公園管理 センター2階 会議室	—
3月12日	里山文化ゾーンイベント オオルリシジミサンクチャリの野焼き見学会	国営アルプス あづみの公園 里山文化 ゾーン	—

団体名	アルプス花街道実行委員会
記入者名	(事務局補佐)安曇野市 地域づくり課 まちづくり推進係 平林 秀隆

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
5月22日	アルプス花街道 苗配布・定植	市内9か所他	1,127人
8月12日	花壇の巡視	同上	8人

団体名	潮沢ロマンの会
記入者名	宝 喜吉

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
3月20日	柏尾地域学習会 風神様	潮沢区柏尾	40人
10月10日	潮沢・名九鬼に伝え残る平家にまつわる伝説を散策	潮沢区名九鬼	30人
10月22日	明南小1学年 生活科遠足 明南小ー潮神明宮ー東平ー潮神明宮ー明科駅	廃線敷	43人 (児童40人 職員3人)
11月19日	堀金小6年生 安曇野探検実施 漆久保トンネルー潮神明宮	廃線敷	93人 (児童89人 職員4人)

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 潮沢・名九鬼に伝え残る平家にまつわる伝説を散策

理 由 : 潮沢区民を主に地域学習会を令和元年から令和3年まで行いました。

潮沢の歴史等が分かった様に思います。

令和元年潮沢公民館にて講座、令和2年岩州山散策、令和3年名九鬼地域

団体名	NPO 法人 あづみ野風土舎
記入者名	今泉 一

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月29日	「緑のカーテン育てよう」講座	安曇野市役所	約80人
5月30日	緑のカーテンの育て方講座(ゴーヤ編) (講師担当)	安曇野市役所	約50人
11月22日 ～12月2日	環境ネットワーク展 パネル展示	堀金支所 市民活動室	—
12月4日 ～17日	環境ネットワーク展 パネル展示	明科支所 1階ホール	—
年10回	柏矢町三角地植栽・整備	柏矢町三角地	延べ60人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 「緑のカーテン育てよう」講座

理 由 : 長年にわたる琉球朝顔の普及活動により知名度が上がったこと。

地球温暖化問題が深刻に受け止められ、緑のカーテンに関する市民の関心が高まってきたこと。

団体名	NPO 法人安曇野ふるさとづくり応援団
記入者名	宮崎 崇徳

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
5月16日 ～6月13日	ふるさとさんぽ 2021 春	市内	30人
10月10日	ふるさとさんぽ 2021 秋	市内	40人

～11月6日			
10月26日	ふるさと探究～武蔵野第六中1年	豊科重柳	67人
12月3日	ふるさと探究～豊科東小3年	豊科田沢	27人
1月26日 ～3月23日	さとやま楽校案内人の教室	国営公園ほか	10人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：ふるさと探究～豊科東小3年

理由：今昔の地図を見比べながら、楽しく地域探求学習を行った。

団体名	NPO 法人 信州ツキノワグマ研究会
記入者名	浜口 あかり

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
7月3日	からすの学校「ツキノワグマ学習会」	烏川溪谷緑地	15人程度
	松本市内では、安曇小中学校や松本大学予備校でクマ講座を開催		

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：からすの学校「ツキノワグマ学習会」

理由：ほぼ毎年継続して開催しているが、最新情報などを交えながら実施している。

今年度は例年より早い7月の開催となったことで、真新しいクマの痕跡などを見ながら学習できた。

団体名	烏川溪谷緑地 環境管理事務所
記入者名	須之部 大

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月17日～	カタクリウィークス カタクリ観察ガイドウォーク	森林エリア	0人

4月17日	カタクリ観察会	森林エリア	16人
4月24日	第138回からすの学校 オオルリ観察会	森林エリア 穂高ビューホテル	19人
4月23日 ～5月15日	宿泊施設タイアップ オオルリウィーク観察会	水辺エリア	0人
4月24日 ～5月6日	オオルリ・ウィークス オオルリ観察ガイドウォーク	森林エリア 穂高ビューホテル	12人
5月1日	第138回からすの学校 オオルリ観察会	森林エリア 穂高ビューホテル	20人
5月15日 22日	ノルディックウォーキングを楽しもう 烏川溪谷緑地⇄あづみの公園	水辺エリア アルプスあづみの公園	24人
5月16日	第139回からすの学校 烏川溪谷を歩く ～里山 自然と文化学習会～	森林エリア	内容を替え 10/10に 延期
5月22日	樹木医が案内する樹木観察	水辺エリア	16人
6月3日	いがりまさし ライブ配信	水辺エリア	—
6月19日	第140回からすの学校 植物写真教室ワークショップ プラス 映像詩	水辺エリア ほりで一ゆ～四季の郷	10人
夏季	小学校等環境学習 水生生物観察会(団体対応)	水辺エリア <啼鳥山荘>	—
	旅行者対応イベント ユキトギ沢の森観察 ガイドウォーク	森林エリア <穂高ビューホテル>	27人
7月3日	第141回からすの学校 ツキノワグマ学習会	森林エリア 穂高ビューホテル	18人
7月25日	昆虫観察会 昆虫の目から見た棲みよい森づくり	水辺エリア	20人
8月20日 21日	夏休みイベント 水鉄砲を作って遊ぼう!	水辺エリア	16人
9月18日	樹木医が案内する樹木観察	森林エリア	雨天中止
9月19日	第142回からすの学校 地表徘徊昆虫学習会	森林エリア 穂高ビューホテル	中止
9月23日 24日	ユケテラリウム作り	水辺エリア	中止
10月2日 9日	ノルディックウォーキングを楽しもう 烏川溪谷緑地⇄あづみの公園	水辺エリア あづみの公園	22人

10月10日	第139回からすの学校 鳥川溪谷を歩く ～タイムスリップ鳥川古道～	園外	12人
10月23日	第143回からすの学校 野鳥と動物の棲む森学習会	森林エリア	13人
10月23日 24日	安曇野環境フェア	安曇野市 堀金総合体育館	中止
11月6日	森林エリア植物観察会	森林エリア	21人
11月22日 ～12月2日	環境ネットワーク展 パネル展示	堀金支所 市民活動室	—
12月4日 ～17日	環境ネットワーク展 パネル展示	明科支所 1階ホール	—
12月18日 19日	クリスマスのコケテラリウム作り	水辺エリア	27人
1月5日	新月伐採 伐倒体験 斧入れの儀	森林エリア	2/26に 延期
1月23日	第144回からすの学校 ユウモリの不思議学習会	水辺エリア	中止
1月30日	第145回からすの学校 アニマル・トラッキング学習会	水辺エリア	16人
2月12日	スノーシュー体験	水辺エリア	中止
2月26日	新月伐採 伐倒体験 斧入れの儀	森林エリア	33人
1月, 2月	宿泊施設タイアップ スノーシューハイク	森林エリア	8人
3月19日 20日	春を迎える コケテラリウム作り	水辺エリア	中止

団体名	三角島ふるさとの森プロジェクト
記入者名	場々 洋介

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
6月27日	アレチウリ駆除	三角島	10人
7月18日	アレチウリ駆除	三角島	10人

8月21日	アレチウリ駆除	三角島	6人
9月12日	ゴミ拾い	三角島	6人
11月3日	アレチウリ駆除	三角島	13人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：アレチウリ駆除

理由：三角島の自然が楽しめた。毎年の継続事業

団体名	生活協同組合コープながの
記入者名	総合企画室 召田 洋一

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
6月21日	安曇野市消費者の会向け段ボール堆肥講座	安曇野市役所	17人
8月1日	川の生きもの調査	せせらぎ	56人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：川の生きもの調査

理由：昨年同様、コロナ禍で開催された貴重な集合形式での開催だった為と思われます。

団体名	田淵行男記念館こども自然観察教室「むしの会」
記入者名	伊藤

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月17日	昆虫観察と館の自由見学(雨天のため中止)	記念館周辺	—
5月23日	希少種オオルリシジミの観察	国営アルプス あづみの公園 (堀金・穂高)	45人
6月12日	昆虫観察	県営烏川 溪谷緑地	52人

7月10日	昆虫の採集と観察	長峰山	35人
8月7日	ライトトラップ(荒天のため中止)	大王 わさび農場	—
9月18日	昆虫観察(荒天のため中止)	県営烏川 溪谷緑地	—
10月9日	昆虫観察	県営烏川 溪谷緑地	37人
11月13日	フユシャクガの観察	松本市 アルプス公園	28人
12月4日	冬鳥と越冬幼虫の観察と館の見学	記念館と その周辺	37人
2月12日	修了式と講演会	三郷公民館	—

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : 6月12日に行った県営烏川溪谷緑地での昆虫観察

理由 : 前年度はコロナの影響で活動を休止した反動か、今年度は入会者が多かった。活動を始めて間もない時期だったので、多くの参加者がいたものと思われる。また、多くの虫が活動する季節だったこともあると思う。

団体名	NPO 法人森倶楽部 21
記入者名	森 芳昭

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月25日	ミニ自然観察会	長峰山	5人
5月1日	野鳥調査観察会	長峰山	8人
5月23日	ミニ自然観察会	長峰山	12人
5月28日	明科高校総合的な探求の時間「長峰山遠足」	長峰山	81人
6月27日	ミニ自然観察会	長峰山	7人
7月25日	ミニ自然観察会	長峰山	5人

8月22日	ミニ自然観察会	長峰山	17人
11月28日	ミニ自然観察会	長峰山	6人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：ミニ自然観察会

理由：ほぼ年間を通じて実施、四季折々の里山の自然の変化を感じられた。
特に親子での参加が多かったので、子供たちの好奇心や観察眼に驚かされた。
昆虫や植物に興味を持ってくれ連続して参加してくれるようになった。

団体名	マイ箸づくりサポートボランティア
記入者名	矢口 今朝雄

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
6月26日	マイ箸づくり(富田農協婦人会)	富田農事センター	15人
	コロナ禍で4回講座希望があったが、中止になった。		

団体名	屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト
記入者名	場々 洋介

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
11月23日	落葉ひろいボランティア	曾根原家	10人
2月20日	安曇野屋敷林フォーラム2022	安曇野市穂高 交流学習センター 「みらい」	58人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：安曇野屋敷林フォーラム2022

理由：通算13回目となります。安曇野の屋敷林に関心があると思います。

団体名	野生生物資料情報室
記入者名	植松 晃岳

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月23日	野鳥観察会(穂高公民館主催)	鐘の鳴る丘	17人
4月24日	オオルリ観察会 (水辺エリア・座学と観察会)	烏川溪谷緑地	15人
5月1日	野鳥観察会(森林エリア・座学と観察会)	烏川溪谷緑地	20人
6月18日	ライチョウ講座(座学)	勤福センター	20人
6月19日	ライチョウ講座(座学)	勤福センター	18人
6月20日	ライチョウ観察会(座学と観察会)	乗鞍岳	20人
6月21日	ライチョウ観察会(座学と観察会)	乗鞍岳	20人
6月22日	ライチョウ観察会(座学と観察会)	燕岳	7人
7月6日	ライチョウ観察会(座学と観察会)	乗鞍岳	6人
1月30日	アニマルトラッキング(座学と観察会)	烏川溪谷緑地	20人

特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名 : ライチョウ観察会

理由 : 現在保護活動が実施されており、関心がある人が多いため

団体名	やまこの学校
記入者名	古田 春江

日付	イベント・講座名	会場	参加人数
4月25日	オリエンテーション、ネット張り	国営アルプス あづみの公園 堀金・穂高地区	25人

5月15日	卵の糊付け、山付け	同上	29人
6月6日	幼虫観察	同上	22人
6月26日	切換えし	同上	20人
7月4日	収繭	同上	19人
8月8日	成虫観察	同上	30人
9月5日	コサージュ製作体験	同上	13人
9月11日	コサージュ製作体験	同上	12人
10月2日	織り糸作り	同上	16人
10月17日	織り体験	同上	12人
10月24日	織り体験	同上	12人

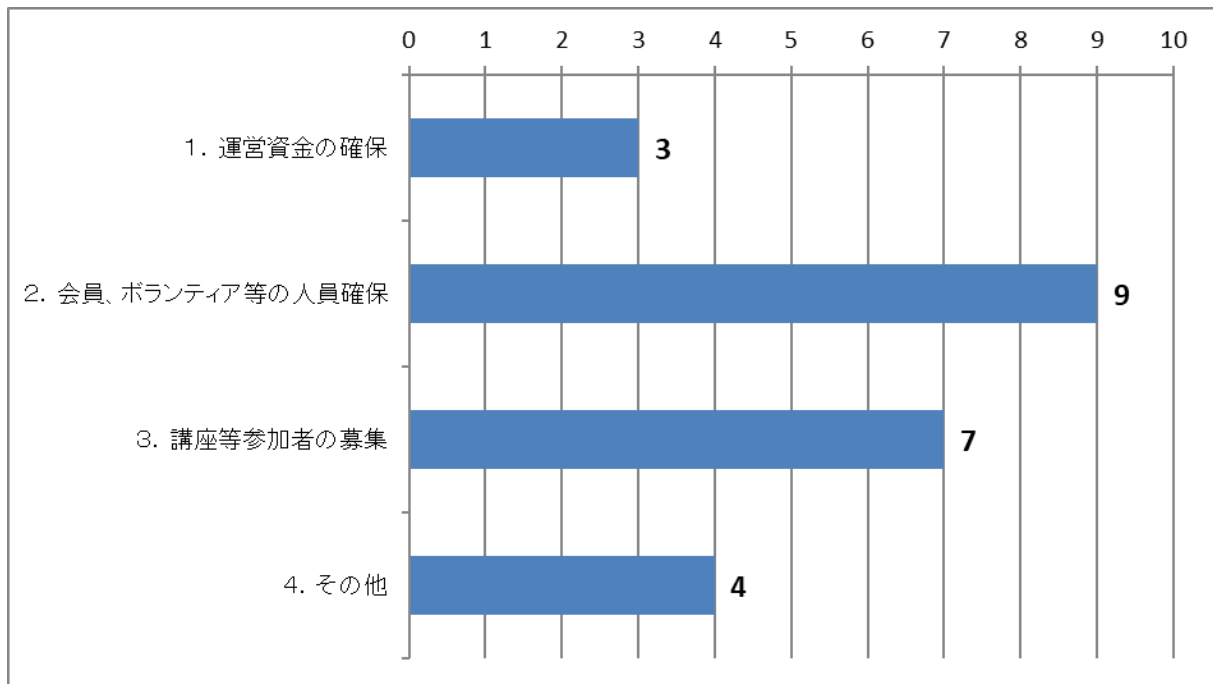
特に来場者からの反響が大きかった活動とその理由

イベント・講座名：成虫観察講座

理由：ヤママユガの成虫は、繭の中で繭を溶かす液体を出して繭を押し広げ這い出てくる羽化の様子、繭から出た成虫が羽を伸ばす様子が観察できる。
夜間の観察であり、同じ場所でライトトラップも行う公開講座となっているために人気が高い。

【問】貴団体の運営、イベント・講座等の実施にあたり、課題と感じていることは何ですか。(複数回答可)

1. 運営資金の確保 2. 会員、ボランティア等の人員確保
3. 講座等参加者の募集 4. その他 ()

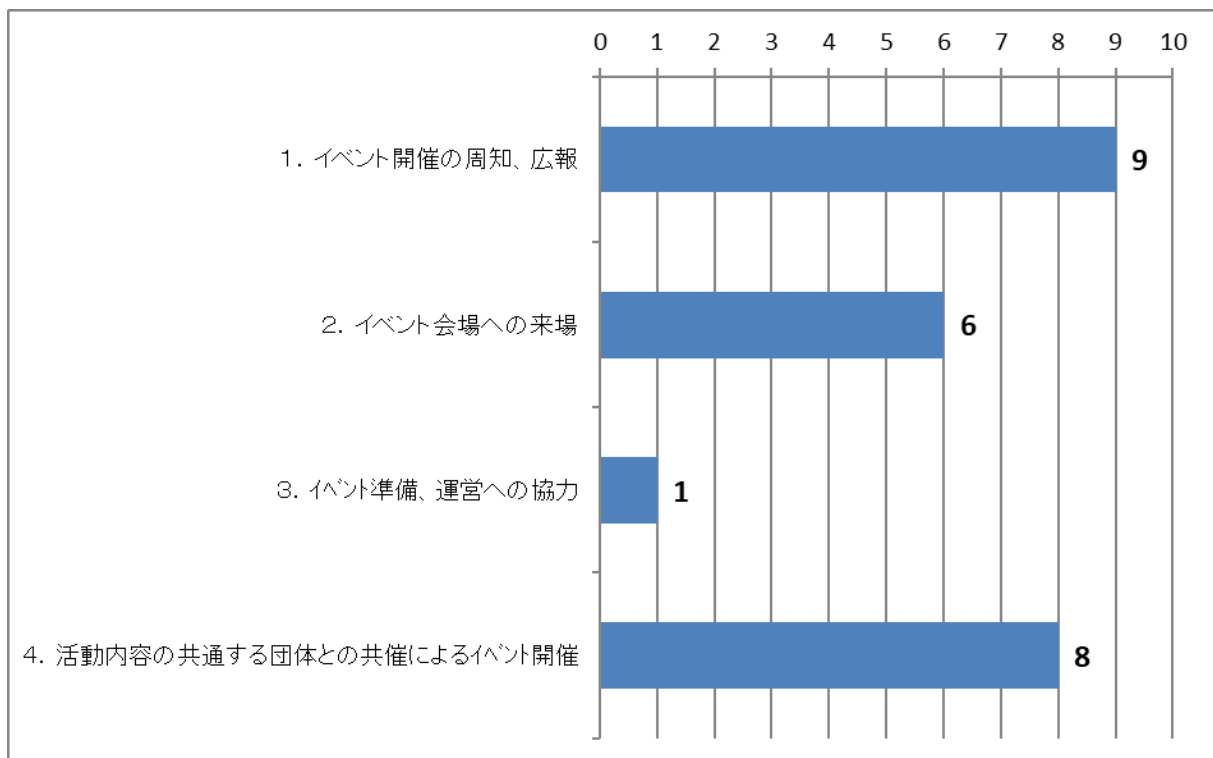


※4. その他

・今年度は幼虫、繭が猿の食害により、90%が失われたので、今後どのように対応すればよいのか困惑しています。

【問】貴団体がイベント・講座を実施する際、他のネットワーク登録団体や環境審議会などにどのようなことを期待しますか。該当する項目に○を記入してください。(複数回答可)

1. イベント開催の周知、広報 2. イベント会場への来場
 3. イベント準備、運営への協力 4. 活動内容の共通する団体との共催によるイベント開催



【問】その他、今後環境市民ネットワークとして取り組んでみたい活動がありましたらご自由にご記入ください。(例:特定外来生物(アレチウリなど)の駆除活動)

- ・小中学生を対象とした地域学習活動
- ・ゴミの量を減らす、緑のカーテンを育てるなどの身近活動が環境を守ることにつながることを、市民の皆さんと考える機会(講演会、イベントなどで)を作ることができれば良いと思います。具体的な内容は思いつきませんが、環境フェアの中で出来ればと漠然と思っています。
- ・小中学生を対象とした地域学習活動
- ・環境フェアが再開されたらぜひ参加したいです。
- ・大々的なアレチウリの駆除。ある程度民地の部分も行いたい。
- ・環境やSDGsに関する講演会
- ・長峰山山頂草原の保全と有効利用についての講演会
- ・令和4年に信州の歴史的まちなみネットワークを安曇野で計画しています。環境フェアの時イベントが出来ないかと考えています。テーマに合った講師の講演会等計画できないか。長野県も共催してくれそうです。
- ・猿害で困っている団体との交流、又は講演会に参加希望です。

【問】長野県が開設した「信州環境カレッジ」事業について、該当する項目に○を記入してください。

1. 既に活用した講座を実施又は計画している。
2. 次年度以降、活用した講座の実施を検討している。
3. 活用の可否を検討するため、詳細資料の提供や説明会等の機会を求める。
4. 今のところ活用する予定はない。

